

「公共施設の適正配置に関する方向性（案）」へのパブリックコメント実施結果

1. 募集期間

平成30年6月14日（木）～平成30年7月13日（金）

2. 意見応募状況

意見応募者数：127人

意見件数：155件

※意見提出の定めに反して提出された意見は結果から除外しております。

※同様な意見の場合は、市の考え方をまとめて記載している場合がございます。

※いただいたご意見について一部要約（判読不能は●）している場合がございます。

3. 意見とこれに対する市の考え方

番号	ページ、項目番号など	意見	市の考え方
1	P6 (3)基本的な考え方	コンパクトシティのゾーニングとして、下関駅周辺と新下関駅周辺が位置づけられているが、在在施設との関連性についても考え方を述べるべきである。	下関市都市計画マスタープランでは、将来都市構造の一つとして、様々な都市機能を集積させ市の中心的役割を担う「都市拠点」が設定され、下関市街地及び新下関駅周辺が位置づけられています。これらの地区は都市機能が集約されていると同時に、集会施設や保養観光施設・インフラ施設などの公共施設も多数立地していることから、今後も都市拠点の維持に配慮しながら「公共施設の適正配置に関する方向性」を検討する必要があると考えます。 いただいたご意見に基づき、「3. 適正配置に関する方向性の考え方」の中で、「(3) 基本的な考え方」に記述を加え、また「西部地区」及び「勝山地区」における「課題と方向性」の項において考え方を示しました。
2	P24 インフラ施設	下関港国際ターミナルについては、今後の「長州出島」におけるフェリー埠頭の集約、クルーズ船対応等を踏まえた長期的ビジョンを検討すべきである。（なお、当ターミナルには、市港湾局が入居しているが、本庁舎に移転することが適当と考える。しかしながら、新たに入居する者が確保できなければ、有効利用の観点から、当分の間やむなしと考える。） インフラ施設としての港湾上屋は、今後改定する港湾計画との整合性を図る必要がある。今後の港湾物流を踏まえ公共施設として保有すべきかも合わせて要検討である。（施設の民間運営も一考）	下関港国際ターミナルや上屋などの港湾施設につきましては、「下関港港湾計画」に基づいて検討を行うと共に、今後予定されている改定に当たっても、必要な整合を図ってまいります。 いただいたご意見に基づき、「中東地区」及び「西部地区」における「課題と方向性」の項においてこのことを記述いたしました。
3	P31 下関市勤労福祉会館	使用料も値上げされるのは困る。近場で利用できる上に駐車場（有料）もあるから集約ということはどこかに統合することか。コミュニティといいながらもその活動が妨げられているようで不安です。もっともっと市民のためによりしくおねがいします。	「公共施設の適正配置に関する方向性」では、地域コミュニティの核となる施設を確保しながら適正配置を検討し、次の世代に負担をかけない安全・安心な施設を引き継ぎ、魅力ある『新しいまちづくり』を推進していくこととしています。 下関市勤労福祉会館は築37年となって老朽化が進み、耐震性もないため、中期～後期に他施設との集約化を検討することとしておりますが、中東地区におけるコミュニティの核となる施設を確保することに配慮しながら検討を行います。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。

番号	ページ、項目番号など	意見	市の考え方
4	P32 常盤公園便所、奥小路公園便所	<p>3月末にはせんたく会議の件は知っていました。しかし、便所（公衆）が廃止になることを知っている人はほとんどなく、会う人毎に話をしました。しらんそうです。保育園の保育士さんなどは「えっ、しらんかった。困る。」といわれてました。園児を外で遊ばせることも保育の中に含まれています。尿意をがまんしなさいなんていけないと思う。すべてとはいえないけどももっと整備すべきです。市は1000カ所あるといっています。どの程度なのかはわからないが経費削減はおかしい。住民のためならもっともっと考えてほしい。</p>	<p>「公共施設の適正配置に関する方向性」は決定事項ではなく、市民の方々と議論を深めていくための現時点での市の考え方を提示したものです。</p> <p>公衆便所及び公園の便所等の配置につきましては、施設の老朽度及び使用実績等を参考として方向性を検討し、適正配置に努めているところです。具体的な取り組みに当たっては、築年数のほか施設の状態や利用状況等を勘案し、地域の方々の声をふまえながら対応していきたいと考えております。</p>
5	P44～P46 下関市勤労婦人センター、北部公民館	<p>施設利用の方向性については全く異存はないのですが、勤労婦人センター体育館の耐震性について非常に危惧しています。平成26年度の耐震診断においてI<sub>s</sub>値0.03という建築住宅課所管の中で一番緊急度が高い施設であるという所見にもかかわらず、今後の使用について必ず倒壊するわけではない。市営住宅、他施設についても耐震性に疑念があるが使用している。以上のことから当面継続して使用させるという結論に達し、危険な状況を承知の上で継続的に使用させている。今全国で大きな地震が多発し南海トラフ地震もいつ起こってもおかしくない状況の中で、依然、使用を黙認している状態は非常に無責任であるし、市民の命をないがしろにする行為だと思っている。</p> <p>至急、体育館については使用を中止する方向で動いてもらいたい。</p>	<p>計画期間中に築50年を超える耐震性のない建物は、原則として解体する方向で検討することとしています。その際、地域コミュニティの核となる施設を確保すること、また地域の防災拠点となる施設を確保することにも配慮しながら検討を進めてまいります。</p> <p>勤労婦人センター体育館につきましては、耐震性の問題を含めた経年劣化による老朽化が著しいため、解体の方向で検討することとしており、できるだけ早く使用の可否及び施設の解体時期について判断を行いたいと考えております。</p> <p>検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。</p>
6	P46 下関市勤労婦人センター	<p>勤労婦人センターの体育館については健康増進を目的としたスポーツの為、そして北部地区文化祭時の展示の場所及び地域ふれあいの場所や防災拠点として必要である。</p>	<p>計画期間中に築50年を超える耐震性のない建物は、原則として解体する方向で検討することとしています。その際、地域コミュニティの核となる施設を確保すること、また地域の防災拠点となる施設を確保することにも配慮しながら検討を進めてまいります。</p> <p>勤労婦人センター体育館につきましては、耐震性の問題を含めた経年劣化による老朽化が著しいため、解体の方向で検討することとしており、できるだけ早く使用の可否及び施設の解体時期について判断を行いたいと考えております。</p> <p>検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。</p>
7	P52 玄洋公民館	<p>彦島の玄洋公民館は地域の文化拠点です。豊かな生活の拠点です。ぜひ存続させて下さい。できれば高齢化も進んでいます。支所の機能をもたせるようにして下さい。</p>	<p>「公共施設の適正配置に関する方向性」では、地域コミュニティの核となる施設を確保しながら適正配置を検討し、次の世代に負担をかけない安全・安心な施設を引き継ぎ、魅力ある『新しいまちづくり』を推進していくこととしています。</p> <p>玄洋公民館は建築後60年を超えて老朽化が進み、耐震性もないことが課題となっていますので、彦島地区の施設の適正配置を検討の上、施設のあり方を検討してまいります。</p> <p>検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。</p> <p>なお、支所機能につきましては、ご意見として参考にさせていただきます。</p>

番号	ページ、項目番号など	意見	市の考え方
8	P55 彦島地区 便所	<p>公園のトイレは、公園を利用する方々だけではなく近くを通られる方々のためのものです。トイレがなくなることで公園やその周辺の環境が悪くなることも考えられます。もっと周辺住民の意見を聞く事も含め調査をするべきだと思います。どこからこれらの候補が出てきたのですか。</p> <p>財政難の原因はどこにあるのでしょうか。長州出島建設・市庁舎建て替え・第2関門橋建設案など、市民の福祉の充実を目的とした税金の使い方をしていた(いる)のでしょうか。もっともっと本当にムダなものを「せんたく」して市民の福祉増進に大切な税金を使って下さい。私は彦島の住民です。今の環境を守りたい。</p>	<p>「公共施設の適正配置に関する方向性」は決定事項ではなく、市民の方々と議論を深めていくための現時点での市の考え方を提示したものです。</p> <p>公衆便所及び公園の便所等の配置につきましては、施設の老朽度及び使用実績等を参考として方向性を検討し、適正配置に努めているところです。具体的な取り組みに当たっては、築年数のほか施設の状態や利用状況等を勘案し、地域の方々の声をふまえながら対応していきたいと考えております。</p>
9	P67 吉田支所、吉田公民館	<p>吉田支所及び吉田公民館は現計画では吉田小学校への移転となっていますが、公民館＝築42年、小学校＝築46年となっています。一般庁舎と学校の建築基準が異なることはわかりますが残存年数はいかがですか。取り敢えず移転で了解を取り、すぐ合併では住民としては納得できません。また、費用の無駄遣いです。人件費等の費用削減には自治会等の地元との協力を得ればかなり抑えられると思います。コンビニでの公共手続きができるように。</p>	<p>計画期間中に築50年を超える耐震性のない建物は、原則として解体する方向で検討することとしています。</p> <p>吉田公民館・吉田支所は、築40年以上が経過して老朽化が進み、耐震性がないことから、耐震性がある吉田小学校の建物の活用を検討することとしています。なお、吉田小学校の築年数は最も古い建物についての表記であり、別に比較的新しい建物もあることから、具体的な方法についても併せて検討します。</p> <p>中期(2023年度～2028年度)及び後期(2029年度～2034年度)については、現時点で想定する概ねの方向性を示していますが、市民ニーズの状況や社会経済情勢の変化、地方財政制度の動向等を勘案して、適当な時期に改めてその方向性を検証することとしています。</p> <p>検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。</p> <p>自治会等との協働やコンビニでの公共手続きにつきましては、ご意見として参考にさせていただきます。</p>
10	P67 吉田支所、吉田公民館	<p>吉田支所、公民館、放課後こども教室、老人憩の家→吉田小学校へ希望する。</p>	<p>吉田公民館・吉田支所は、築40年以上が経過して老朽化が進み、耐震性がないことから、耐震性がある吉田小学校の建物の活用を検討することとしています。</p> <p>吉田老人憩の家につきましては、中期～後期での集約化を検討することとしており、ご意見等を参考にしながら検討してまいります。</p> <p>検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。</p>
11	P67 吉田支所	<p>移動する手段は今でも不便なのに諸々の手続きや公的な書類をどのように取り寄せることができるのか。目や耳が悪くなり、またインターネット等ITを使えない状態なのに、これ以上不便になることに反対である。(高齢化による体のおとろえ、独り暮らしでかわりがいない。)吉田には必要不可欠である。(移転反対)</p>	<p>「公共施設の適正配置に関する方向性」では、地域コミュニティの核となる施設を確保しながら適正配置を検討し、次の世代に負担をかけない安全・安心な施設を引き継ぎ、魅力ある『新しいまちづくり』を推進していくこととしています。</p> <p>吉田公民館・吉田支所は、築40年以上が経過して老朽化が進み、耐震性がないことから、耐震性がある吉田小学校の建物の活用を検討することとしておりますが、サービスの維持に努めて参りたいと考えております。</p> <p>検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。</p>

番号	ページ、項目番号など	意見	市の考え方
12	P68 吉田小学校	吉田小学校の件ですが、人口減少のため仕方ないことと思います。 今の公民館はバス停も近くて便利が良いのですが、耐震性のことを考えますと仕方ないことと思います。	学校統合につきましては、保護者や地域住民の皆様との意見交換等を重ね、ご理解と合意に基づいて実施していきたいと考えております。 吉田公民館・吉田支所は、築40年以上が経過して老朽化が進み、耐震性がないことから、耐震性がある吉田小学校の建物の活用を検討することとしておりますが、サービスの維持に努めてまいりたいと考えております。
13	P68 吉田小学校	吉田小学校は複式学級の運営は難しいと思います。また、その弊害がどんなものかわかりませんが、小さな学校でも良いところはあると思います。小学校の廃校（地域にとっては）は地域の活性を奪い過疎化（限界集落）を促進します。吉田では「子ども園」、「あめんぼ」等頑張っています。吉田への移住の実績もあります。教員定数の基準等（国庫補助）が有るのはわかりませんが。	小規模校には、小規模校のメリットがありますので、このメリットを最大限に生かし、教育を充実させることは重要と考えております。一方で、小規模校には学校運営上の課題もあり、集団の中で多様な考え方に触れ、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人一人の資質や能力を伸ばしていくという学校の特質を踏まえれば、よりよい教育環境を実現するために一定の集団規模を確保することが望ましいと考えております。 少子高齢化や人口減少が進む中、学校も地域コミュニティの一部であるという側面があるため、学校統合につきましては、保護者や地域住民の皆様との意見交換等を重ね、ご理解と合意に基づいて実施していきたいと考えております。
14	P68 吉田小学校	前教育長のお話では、住民の意見を最重点にするとのことであったが、どこでOKが出たのかお知らせ願いたい。	「公共施設の適正配置に関する方向性」は決定事項ではなく、市民の方々と議論を深めていくための現時点での市の考え方を提示したものです。 学校統合につきましては、保護者や地域住民の皆様との意見交換等を重ね、ご理解と合意に基づいて実施していきたいと考えております。 いただいたご意見に基づき、「公共施設の適正配置に関する方向性」の説明文中に「保護者や地域住民との合意に基づいて実施します。」という記述を加えます。
15	P68 吉田小学校	小中一貫校として木屋川中に集約統合することは時代の流れとして理解できるが、海拔4～5mの低地が気になる。（避難所にならない） 吉田が限界集落にならない為にも、便利な有効的なスクールバスの運行等（生活バスを含めて）今後議論、調整していくべき。	適正配置の検討に際しては、平常時の安全だけでなく、災害時の拠点施設としての機能確保の観点から、地域の防災拠点となる施設の確保に努めることとしています。 木屋川中学校につきましては、指定緊急避難場所（高潮を除く）及び指定避難所に指定されているところですが、引き続き安全な避難施設の選定に努めてまいります。 学校統合によって通学距離が長くなるといった課題が生じる場合には、スクールバスの運行など、児童生徒に過度の負担をかけない方策を検討します。
16	P68 吉田小学校	小学校が無くなることにより、ますます若い人達（勤労者を含む）が住まなくなり過疎化がすすむ。今でも上市25戸中、小学校に通っているのは1戸しかない。独り住い（年寄り）が多い上にこれ以上過疎化がすすむのは何とか止めたい。	「公共施設の適正配置に関する方向性」では、地域コミュニティの核となる施設を確保しながら適正配置を検討し、次の世代に負担をかけない安全・安心な施設を引き継ぎ、魅力ある『新しいまちづくり』を推進していくこととしています。 学校統合につきましては、保護者や地域住民の皆様との意見交換等を重ね、ご理解と合意に基づいて実施していきたいと考えております。

番号	ページ、項目番号など	意見	市の考え方
17	P68 吉田小学校	<p>各施設等が集約するのはやむをえないことと思います。今、私達は吉田まちづくり協議会の中で子供づれの家族が吉田に住んでもらえる様に頑張っています。少しずつですが子供の数も増えています。小学校だけは是非吉田に残してほしいです。吉田小学校に使われない部屋があればホームするなどして、支所・公民館・老人憩の家を体育館・料理教室等共有できないものですか。</p>	<p>「公共施設の適正配置に関する方向性」では、地域コミュニティの核となる施設を確保しながら適正配置を検討し、次の世代に負担をかけない安全・安心な施設を引き継ぎ、魅力ある『新しいまちづくり』を推進していくこととしています。</p> <p>学校統合につきましては、保護者や地域住民の皆様との意見交換等を重ね、ご理解と合意に基づいて実施していきたいと考えております。</p> <p>なお、利用可能な建物につきましては、有効利用を図ってまいります。</p>
18	P67、P68 地区施設	<p>経済的合理性のみを追求すれば、公共施設の適正配置の方向に理はある。だが、人間らしい暮らしを追求する立場に立てば、歴史も伝統文化もある吉田地区を限界集落や滅亡へと導く小学校の木屋川中への集約は絶対反対である。地域づくりの核である公民館の移動と吉田支所の移転や複合化も賛成しがたい。</p> <p>この数年間、吉田地区は「吉田まちづくり」に一丸となって取り組み、IターンやUターンの若い家族も増え始め、小学校の児童も増加してきた。吉田の宅地や中古住宅に見向きもしなかった不動産会社も活発に動き始めたところである。</p> <p>吉田地区の最大の売り物は、豊かな自然と豊かな人情に包まれた環境の中で、一人一人を大切に育む緑こども園・吉田小学校・放課後こども教室で営まれる幼児・青少年教育である。この吉田から小学校を除けば、吉田の最大の売り物である教育の核を失い、「まちづくり」は暗礁に乗り上げる。</p> <p>不要に見える蛸の手足をもぎ取れば大切な食物が捕れず、やがて胴体もやせ衰えてしまうように、下関市内の各地に蛸の足のように位置している中山間地域を安易に消滅させることは、やがて市街地などの中心部もやせ衰えさせていくのではないだろうか。</p> <p>中山間地の有する資源や諸機能は、単に農山資源の供給だけでなく、水資源の保護、温暖化の緩衝、更には日本人の心の原風景である田園風景や固有の生活文化、人情の厚さなどがあり、日本人の感性や情操を育む上でも計り知れない貢献をしている。</p> <p>下関市の発展（快適な生活環境づくり）は、商業・工業地域、ベッドタウンなどの市街地と吉田などの中山間地がバランス良く共存し、相互が補完し合うことによって初めて可能になる。</p> <p>公共施設の適正配置の発想はよいが、その結果「住民自治のまちづくり」に積極的に取り組んでいる対象地区の住民の意欲を阻害し地域の衰退を助長するような施策を、行政は厳に慎むべきである。</p> <p>この事業の推進にあたっては、吉田地区住民が納得のいくように説明すべきであることはいうまでもない。</p> <p>※地区によって事情がことなるので、軽々に印は付けられない。吉田地区の立場に立てば、小学校の木屋川中への集約や支所と公民館の他地区への移転や複合化に反対。</p>	<p>「公共施設の適正配置に関する方向性」では、地域コミュニティの核となる施設を確保しながら適正配置を検討し、次の世代に負担をかけない安全・安心な施設を引き継ぎ、魅力ある『新しいまちづくり』を推進していくこととしています。</p> <p>学校統合につきましては、保護者や地域住民の皆様との意見交換等を重ね、ご理解と合意に基づいて実施していきたいと考えております。</p> <p>いただいたご意見に基づき、「公共施設の適正配置に関する方向性」の説明文中に「保護者や地域住民との合意に基づいて実施します。」という記述を加えます。</p>
19	P70 王司公民館	<p>合併後にゆきとどかない行政にびっくりしています。この度の災害でインフラがともなっていないことがよくわかりました。</p> <p>地元とのつながりのない人間が西観音町のようなところに住むのが苦痛ですが、高齢化がすすんでいるので、なんとか手をとりあっていきたいとは思っています。</p> <p>上から物を申すようなことは公共施設をきちんと整備して災害時に備えてほしい。減らさないで下さい。</p>	<p>適正配置の検討に際しては、平常時の安全だけでなく、災害時の拠点施設としての機能確保の観点から、地域の防災拠点となる施設の確保に努めることとしています。</p> <p>また、公共施設の集約化等により、避難所の変更が生じることも予想されますが、これまで以上に災害に関する情報を早くお知らせするなど、安全確保に努めてまいります。</p>
20	P70 錦町福祉館	<p>錦町福祉館の件。市担当者に十分説明したはずなのに集約化とはどのような意味なのか説明願いたい。</p>	<p>「公共施設の適正配置に関する方向性」は決定事項ではなく、市民の方々と議論を深めていくための現時点での市の考え方を提示したものです。</p> <p>錦町福祉館は地域の集会施設として使用されています。築43年を経過して今後の老朽化が予想されるため、将来的には他施設との集約を検討する方向性としておりますが、併せて地元関係者と協議を行い、譲渡の可能性も検討しているところであります。</p>

番号	ページ、項目番号など	意見	市の考え方
21	P74 勝山老人憩の家	勝山老人憩の家の集約化。どこにもっていくつもりなのか。この資料だけでは、わからない。	「公共施設の適正配置に関する方向性」は決定事項ではなく、市民の方々と議論を深めていくための現時点での市の考え方を提示したものです。 勝山老人憩の家は今後老朽化が進むことが予測されるため、将来的には近隣公共施設への集約を検討する方向性としておりますが、集約先は未定です。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。
22	P74 勝山地区 便所	公園便所の廃止。トイレを減らすだけが能でない。	「公共施設の適正配置に関する方向性」は決定事項ではなく、市民の方々と議論を深めていくための現時点での市の考え方を提示したものです。 公衆便所及び公園の便所等の配置につきましては、施設の老朽度及び使用実績等を参考として方向性を検討し、適正配置に努めているところです。具体的な取り組みに当たっては、築年数のほか施設の状態や利用状況等を勘案し、地域の方々の声をふまえながら対応していきたいと考えております。
23	P76 内日地区	内日地域は四方山に囲まれ、他地域からは15km位はなれている。環境・人のふれ合にすぐれている。農業進行地で若者の移住がなければうしなわれる可能性が大きい。若い子供達の声が聞こえなくなれば、地域の活性が出来なくなる為。内日地域には幼保、小、中、公民館の総合施設機能を維持出来るよう要望します。	「公共施設の適正配置に関する方向性」では、地域コミュニティの核となる施設を確保しながら適正配置を検討し、次の世代に負担をかけない安全・安心な施設を引き継ぎ、魅力ある『新しいまちづくり』を推進していくこととしています。 学校統合につきましては、保護者や地域住民の皆様との意見交換等を重ね、ご理解と合意に基づいて実施していきたいと考えております。 なお、内日公民館は築45年以上と老朽化が進んでおり、耐震性もないことから、移転の方向性としておりますが、内日地区におけるコミュニティの核となる施設を確保することに配慮しながら検討を行います。
24	P76 内日地区	内日は特に学校がなくなると、地区として消滅してしまうと思います。すぐに適正規模の基準ももっともですが、こういうことはケースバイケースだと思いますので、もう少しだけ時間をかけて調べシミュレーションをして、10年20年後のことを想像していただきたいです。 豊田、豊北も悲惨な状態の地区を見うけます。本当にこれで下関市が興っていくのか…ギモンです。	「公共施設の適正配置に関する方向性」では、地域コミュニティの核となる施設を確保しながら適正配置を検討し、次の世代に負担をかけない安全・安心な施設を引き継ぎ、魅力ある『新しいまちづくり』を推進していくこととしています。 学校統合につきましては、保護者や地域住民の皆様との意見交換等を重ね、ご理解と合意に基づいて実施していきたいと考えております。
25	P76 内日地区	内日地区は、山陰地区に属し、新下関地区勝山等の地区と比べ人口減と高齢化は日々進んでいます。運営上のロス等や建設後の経年等で統廃合はある程度進む事はやむを得ない所もあります。ただ、公的交通網の整備を検討課題として取組み、●に路線を変えて交通機関のある所とは差別化する必要があるのではないかと。 地区からの極少の意見ながら上がっている事と聞いています。是非紙面上の計画推進に併せ現地現況下とこれからを含めて検討下さい。 行政の行き届きに不均衡はいただけない。“人”の生活基盤がある。節約すべき所は他に あるのでは。	「公共施設の適正配置に関する方向性」では、地域コミュニティの核となる施設を確保しながら適正配置を検討し、次の世代に負担をかけない安全・安心な施設を引き継ぎ、魅力ある『新しいまちづくり』を推進していくこととしています。 内日地区における公共施設の適正配置につきましては、地区の特性に配慮しながら検討してまいります。

番号	ページ、項目番号など	意見	市の考え方
26	P76 内日地区	<p>下関市は、下関市の地図上の中心地（内日地区）に広大な荒野を作りたいのですか。</p> <p>ご存知のとおり、内日地区は下関市の中でも最も限界集落に近い少子高齢化の町と化しています。地区に最たる観光地はなく、主幹産業は農業です。近年の人口減少により、内日にあった施設は毎年のように統合・廃止されて地区住民は不便な思いをしながら、それでもなお農産物の生産・農地の保全に努めております。</p> <p>今回の内日地区に対する公共施設の適正配置に関する方向性では、町を形成する上で不可欠な公民館、小学校、中学校施設に大きなメスを入れられる計画の様で、地区住民としては、寝耳に水の事態だと考えます。ましてや、下関市立学校適正規模・適正配置基本計画に基づく、勝山小学校・中学校への統合は、内日地区の住民の理解を得ているものでもなく、当然のごとく、2022年度までの前期計画に含めて綿々と進めていこうとされる下関市の姿勢に憤りを覚えます。</p> <p>下関市全体の0.1%未満しか公共施設のない地域でも、生計を立てて、子育てをして、地域のコミュニティを保って、豊かな生活が送れるのでしょうか。あなたは住みたいですか。採算を考えるのは当然ですが、少数の人の犠牲の上に下関市が成り立っていることをお忘れなく。</p>	<p>「公共施設の適正配置に関する方向性」では、地域コミュニティの核となる施設を確保しながら適正配置を検討し、次の世代に負担をかけない安全・安心な施設を引き継ぎ、魅力ある『新しいまちづくり』を推進していくこととしています。</p> <p>また、「公共施設の適正配置に関する方向性」は決定事項ではなく、市民の方々と議論を深めていくための現時点での市の考え方を提示したものです。</p> <p>学校統合につきましては、保護者や地域住民の皆様との意見交換等を重ね、ご理解と合意に基づいて実施していきたいと考えております。</p> <p>いただいたご意見に基づき、「公共施設の適正配置に関する方向性」の説明文中に「保護者や地域住民との合意に基づいて実施します。」という記述を加えます。</p>
27	P76 内日地区	<p>①内日支所の移転は反対。もし移転の場合は菊川支所に転入。</p> <p>②内日公民館は小学校に移転は良しとします。支所も複合化する事は良しとします。</p> <p>③小学校、中学校は勝山に集約する事は絶対反対。移転するなら菊川に行くべき。昔から関係が深い。利便も良い。勝山とは現在でも関係は少ない。</p>	<p>学校統合につきましては、保護者や地域住民の皆様との意見交換等を重ね、ご理解と合意に基づいて実施していきたいと考えております。</p> <p>検討に当たっては、学校統合の組み合わせも含め、様々な観点から意見交換を行う必要があると考えております。</p> <p>なお、内日公民館・内日支所は内日小学校への移転について検討し、内日地区内での機能維持を図ることとしております。</p>
28	P76 内日地区	<p>内日公民館を取り壊し、内日小学校に公民館を移す。小学校・中学校は勝山に統合するなど決まっている様に書かれています。この為、学校が無くなるのであれば途中から学校を替わらなければなくなるので「最初から内日の学校には行かせない方が良い」などと言った声も聞かれます。内日から公共施設が無くなれば、内日地区は疲弊してしまい限界集落になってしまう恐れがあります。</p> <p>今、まちづくり協議会を設立し、内日地区を元気のあるまちづくりをしようと皆ボランティアで頑張っている中、市は地域を疲弊させるような矛盾を感じます。まちづくり協議会は地域と市が協同してまちづくりに取り組む筈なのに、何故市は地域の衰退を招く様な政策を行うのか全く理解に苦しみます。この様な計画は絶対反対します。（総論賛成、各論反対の立場です。）</p>	<p>「公共施設の適正配置に関する方向性」は決定事項ではなく、市民の方々と議論を深めていくための現時点での市の考え方を提示したものです。</p> <p>学校統合につきましては、保護者や地域住民の皆様との意見交換等を重ね、ご理解と合意に基づいて実施していきたいと考えております。</p> <p>いただいたご意見に基づき、「公共施設の適正配置に関する方向性」の説明文中に「保護者や地域住民との合意に基づいて実施します。」という記述を加えます。</p>
29	P76 内日地区	<p>小学校は耐震性はありますが、小学校・中学校共に上に砂防ダムが有り、避難場所としては不適。支所を内日のライスセンターの所に移転・建て替えをして、地震・水害時の避難所にしたら良いのではないのでしょうか。（内日ライスセンターが機能しておらず無駄である。）</p> <p>（あまり使用していない施設は減らした方が良い）</p>	<p>検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。</p> <p>内日公民館については、築30年弱と比較的新しく、耐震性もある内日小学校への移転を検討をしているところですが、土砂災害に対しましては、公共施設・民間施設を問わず、安全な避難施設の選定に努めてまいります。</p>
30	P76 内日地区	<p>幼稚園が休園になっている今、まだ小学校に上がらない子供さんを持つ親ごさんは毎日送り迎えの大変な毎日を過ごされています。</p> <p>他の所から来られて内日に家を建てて頂いたのに内日ではない園に子供さんを…学校に上がった家前で子供さんに手をふって「行ってらっしゃい」って言うのを思い描いているお母さんの思いを聞いて、他の子供さんを持つ親ごさんにもこれからずっと今のまま内日での毎日が続く事を望んでいます。現状はきびしいと思いますが宜しくお願い致します。</p>	<p>「公共施設の適正配置に関する方向性」では、地域コミュニティの核となる施設を確保しながら適正配置を検討し、次の世代に負担をかけない安全・安心な施設を引き継ぎ、魅力ある『新しいまちづくり』を推進していくこととしています。</p> <p>学校統合につきましては、保護者や地域住民の皆様との意見交換等を重ね、ご理解と合意に基づいて実施していきたいと考えております。</p>

番号	ページ、項目番号など	意見	市の考え方
31	P76 内日地区	<p>7歳と2歳になる息子がいます。7歳の息子が内日幼稚園に通わせたかったのに廃園になって他の幼稚園や保育園を探すのに大変な思いをしました。2歳の息子今から幼稚園、保育園を探していてなかなか見つかりません。内日にまた保育園を作ってほしいです。</p> <p>そして7歳の息子が内日小学校に通っています。人数は少ないですが毎日楽しいと言っています。先生方も良くしてくださって本当に良い学校で親も安心して子供を通わせられます。2歳の息子もこの先、内日小学校に通わせたいと思っているので無くなっては困ります。わざわざ集約化して勝山まで通わせるメリットはあるのでしょうか。登校・下校で遠いので心配が増えるだけですよね。内日に住んでいる方たちのことももっと考えてほしいです。公園も近くにないで作ってほしいです。</p>	<p>市立幼稚園の園児数は、現在、深刻な小規模化が進んでおり、遊びを充実させ人間関係を豊かにするための集団規模の確保が難しい市立幼稚園が増えています。このため、教育・保育の提供区域を市内10地区に分け、地区ごとの事情を考慮しながら、下関市立就学前施設の整備基本計画に基づいて適正配置を進めています。</p> <p>また、学校については、小規模校には、小規模校のメリットがありますので、このメリットを最大限に生かし、教育を充実させることは重要と考えております。一方で、小規模校には学校運営上の課題もあり、集団の中で多様な考え方に触れ、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人一人の資質や能力を伸ばしていくという学校の特質を踏まえれば、よりよい教育環境を実現するために一定の集団規模を確保することが望ましいと考えております。</p> <p>検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。</p>
32	P76 内日地区	<p>内日に少しずつ家が建てられ小さな子供さんがふえつつあるのに小学校・中学校が遠くなるのは大変。私達の子供達も親がだんだん農業ができなくなるので帰って手伝っても良いと思ってるが学校がなくなるのでは帰れない。幼稚園も残してほしかった。老人憩の家は皆が集う所。ぜひ残して。</p>	<p>「公共施設の適正配置に関する方向性」では、地域コミュニティの核となる施設を確保しながら適正配置を検討し、次の世代に負担をかけない安全・安心な施設を引き継ぎ、魅力ある『新しいまちづくり』を推進していくこととしています。</p> <p>学校統合につきましては、保護者や地域住民の皆様との意見交換等を重ね、ご理解と合意に基づいて実施していきたいと考えております。</p> <p>学校統合によって通学距離が長くなるといった課題が生じる場合には、スクールバスの運行など、児童生徒に過度の負担をかけない方策を検討します。</p> <p>また、内日老人憩の家については、今後老朽化が進むことが予測されるため、将来的には機能を維持しながら近隣公共施設への集約を検討する方向性としております。</p>
33	P76 内日地区	<p>支所・学校共に人数が少ないので仕方がないとは思いますが、出来ればこの地で子供達は育てて行ってほしいです。</p> <p>バス等も今では回数が少ないと思います。子供達が行くにはスクールバス等で支援して頂いたら良いのではないのでしょうか。</p>	<p>学校統合につきましては、保護者や地域住民の皆様との意見交換等を重ね、ご理解と合意に基づいて実施していきたいと考えております。</p> <p>学校統合によって通学距離が長くなるといった課題が生じる場合には、スクールバスの運行など、児童生徒に過度の負担をかけない方策を検討します。</p>
34	P76 内日地区	<p>内日は昨年より幼稚園が休園となり、それにまた中学校・小学校までなくなると内日が活性しなくなります。</p> <p>現在、外からの方が内日は環境がいいと家を建てて住み出したり、ピザ屋や喫茶店（外からの方、内日の人ではない）やいちご園と活性する方向が見えてきています。</p> <p>内日を盛り上げるためには、まず若者を集めないといけないと思います。若者が子供を育てていくうえで、育てやすい環境を作らなければならないと、それには小学校・中学校はそのままとしてほしいと思います。なくすことには反対です。今、内日を盛りあげようとしているのに。この環境を大切に、次の世代に。</p>	<p>「公共施設の適正配置に関する方向性」では、地域コミュニティの核となる施設を確保しながら適正配置を検討し、次の世代に負担をかけない安全・安心な施設を引き継ぎ、魅力ある『新しいまちづくり』を推進していくこととしています。</p> <p>学校統合につきましては、保護者や地域住民の皆様との意見交換等を重ね、ご理解と合意に基づいて実施していきたいと考えております。</p>



番号	ページ、項目番号など	意見	市の考え方
35	P76 内日地区	高齢化が進んでいるこの地区で、子供の姿や声がなくなると、ますます活気がなくなりま す。毎日見守り隊の方に見守って頂いて子供達は地域とふれあい優しさに囲まれて生活して います。とてもいい事だと思います。高校からは通学に1時間以上かかるようになるので、 小中学校の間は、子供の負担も考えて、内日で通わせてあげたいと思います。幼稚園が閉園 になって皆とても寂しがっておられます。小中学校は是非このまま内日をお願いします。	「公共施設の適正配置に関する方向性」では、地域コミュニ ティの核となる施設を確保しながら適正配置を検討し、次の世 代に負担をかけない安全・安心な施設を引き継ぎ、魅力ある 『新しいまちづくり』を推進していくこととしています。 学校統合につきましては、保護者や地域住民の皆様との意見 交換等を重ね、ご理解と合意に基づいて実施していきたいと考 えております。
36	P76 内日地区	内日支所、公民館の老朽化はわかります。小中学校の空いている教室の利用や併設してい けば、少ない子供達でもコミュニティーの活動が増えたり、日頃の学校生活を地域の方に見 て頂いたりできて、活気がでるのでは。学校で体育館を使用していないときは、地域の方が 使えたりと、今までの講堂のかわりになるのでは。	「公共施設の適正配置に関する方向性」では、地域コミュニ ティの核となる施設を確保しながら適正配置を検討し、次の世 代に負担をかけない安全・安心な施設を引き継ぎ、魅力ある 『新しいまちづくり』を推進していくこととしています。 学校統合につきましては、保護者や地域住民の皆様との意見 交換等を重ね、ご理解と合意に基づいて実施していきたいと考 えております。 利用可能な建物につきましては、有効利用を図ってまいりま す。
37	P76 内日地区	学校が地域から無くなる事は反対である。内日地区は勝山地区から10km以上の距離があ る。通学距離、時間がかかるという意味ではなく山間農村地区で若い世代が少ない地域で学 校をなくしてしまうという事は地域としては大きなダメージである。この様な地域で学校が なくなるとさらなる人口減少が加速していくと思う。 この様な計画を聞かされると内日はあきらめて下さいとしか感じない。無くすのは簡単で ある。地域の人も智慧をしぼらないといけないと思うが、行政も無くすだけの説明では無 く、存続させていく為の智慧ややり方、メリット・デメリットをもっと具体的に示してい かなければいけないと思う。市長がかわって市民ひとりひとりの為と思うならばそういう姿が みたい。	「公共施設の適正配置に関する方向性」では、地域コミュニ ティの核となる施設を確保しながら適正配置を検討し、次の世 代に負担をかけない安全・安心な施設を引き継ぎ、魅力ある 『新しいまちづくり』を推進していくこととしています。 学校統合につきましては、保護者や地域住民の皆様との意見 交換等を重ね、ご理解と合意に基づいて実施していきたいと考 えております。
38	P78 内日公民館	内日公民館の公民館機能を内日小学校に移転。内日地区のことをどの様に考えているので しょうか。”切り捨て”では良くありません。	「公共施設の適正配置に関する方向性」は決定事項ではな く、市民の方々と議論を深めていくための現時点での市の考え 方を提示したものです。 「公共施設の適正配置に関する方向性」では、地域コミュニ ティの核となる施設を確保しながら適正配置を検討し、次の世 代に負担をかけない安全・安心な施設を引き継ぎ、魅力ある 『新しいまちづくり』を推進していくこととしています。 なお、内日公民館は築45年以上と老朽化が進んでおり、耐 震性もないことから、移転の方向性としておりますが、内日地 区におけるコミュニティの核となる施設を確保することに配慮 しながら検討を行います。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理 解をいただきながら取り組んでまいります。
39	P78 内日幼稚園	内日幼稚園解体。子育て出来る地区にしてください。休園は仕方ありませんが、廃園は考 えて欲しい。	市立幼稚園の園児数は、現在、深刻な小規模化が進んでお り、遊びを充実させ人間関係を豊かにするための集団規模の確 保が難しい市立幼稚園が増えています。このため、教育・保育 の提供区域を市内10地区に分け、地区ごとの事情を考慮しな がら、下関市立就学前施設の整備基本計画に基づいて適正配置 を進めています。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理 解をいただきながら取り組んでまいります。

番号	ページ、項目番号など	意見	市の考え方
40	P78 内日幼稚園	子育て支援施設を新たに検討して欲しい。	市立幼稚園の園児数は、現在、深刻な小規模化が進んでおり、遊びを充実させ人間関係を豊かにするための集団規模の確保が難しい市立幼稚園が増えています。このため、教育・保育の提供区域を市内10地区に分け、地区ごとの事情を考慮しながら、下関市立就学前施設の整備基本計画に基づいて適正配置を進めています。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図りながら公共施設の適正配置の実現に取り組んでまいります。
41	P78 内日小学校	小学校の統廃合について、内日地区の住民説明会にて教育長より住民の賛成がない限り統廃合の話は進まないとの返答がありました。適正化と言われれば人口がなく、利用価値がないと思われませんが、地区として公共施設がなくなることにより、衰退することは明白です。面積や移動距離も含めれば住民生活は苦しくなることは明らかで、一度行政機関である教育委員会がこれ以上話は進まないと言った事に対し、今こういったアンケートを一部の対象者のみに実施する事はやりすぎではないのかと思います。 適正化とは何ですか。お金で全て動くのですか。削る事は他にもたくさんあります。教育長の答弁は何ですか。このアンケートで覆るくらいなら、最初からしなければいいのでは。行政サービスへの配慮。このアンケートや市の計画は金の話としか思えません。机の上だけで計算しないで下さい。市長だけでなく、他の職員も足を運んで下さい。きちんとその地区の人の話を聞いて下さい。予算を適正にして下さい。適正なら賛成、金なら反対。	「公共施設の適正配置に関する方向性」は決定事項ではなく、市民の方々と議論を深めていくための現時点での市の考え方を提示したものです。 学校統合につきましては、保護者や地域住民の皆様との意見交換等を重ね、ご理解と合意に基づいて実施していきたいと考えております。 いただいたご意見に基づき、「公共施設の適正配置に関する方向性」の説明文中に「保護者や地域住民との合意に基づいて実施します。」という記述を加えます。
42	P78 内日小学校、内日中学校	地域から学校が無くなるのは反対です。高齢化がすすみ、学校がなくなると、ますます人が減少してしまいます。町の学校どおしが集約するのは距離もあまり遠さは感じませんが、勝山と内日では距離があり、子供にも負担になると思います。 このような意見を求める場合、インターネットにのせるだけでは、このような高齢者が多い地域ではパソコンを扱えない方、ない方が多い為、私もたまたま知りましたが、知らない方がほとんどで意見が出るのは少ないと思います。もっと皆さんに伝達できる取り組みをしてほしいです。	「公共施設の適正配置に関する方向性」では、地域コミュニティの核となる施設を確保しながら適正配置を検討し、次の世代に負担をかけない安全・安心な施設を引き継ぎ、魅力ある『新しいまちづくり』を推進していくこととしています。 学校統合につきましては、保護者や地域住民の皆様との意見交換等を重ね、ご理解と合意に基づいて実施していきたいと考えております。 学校統合によって通学距離が長くなるといった課題が生じる場合には、スクールバスの運行など、児童生徒に過度の負担をかけない方策を検討します。 なお、パブリックコメントの実施につきましては、ホームページへの掲載のほか、市報への掲載や公民館等におけるチラシ掲示等でお知らせしていたところですが、より効果的な広報に努めてまいります。
43	P78 内日小学校、内日中学校	小学校や中学校がなくなれば子供達が通学するのに大変だと思います。できるだけ縮減はさけたいです。	学校統合につきましては、保護者や地域住民の皆様との意見交換等を重ね、ご理解と合意に基づいて実施していきたいと考えております。 学校統合によって通学距離が長くなるといった課題が生じる場合には、スクールバスの運行など、児童生徒に過度の負担をかけない方策を検討します。

番号	ページ、項目番号など	意見	市の考え方
44	P78 内日小学校、内日中学校	<p>今現在、小学校に通わせている保護者としては2015～2019年度に集約を目指すという事にまず驚きました。このアンケートを目にしたのが2018年、2019年に集約ということは来年には統合する計画、子供はどうなるのと思いました。</p> <p>今年4月に入学した保護者の方も迷いに迷って内日小に入れたけれど、こんなに早く統合なのかと驚いていました。しかし、このまま子供が減少していく事を考えても統合は止むを得ない事かもしれませんが、せめて統合先のアンケート等を保護者にとってほしい。勝山と統合したものの、全員他の小学校を希望していたらどうなりますか。他の保護者と話す中で勝山は嫌だよねとの意見も聞きます。</p>	<p>「公共施設の適正配置に関する方向性」は決定事項ではなく、市民の方々と議論を深めていくための現時点での市の考え方を提示したものです。</p> <p>学校統合につきましては、保護者や地域住民の皆様との意見交換等を重ね、ご理解と合意に基づいて実施していきたいと考えております。</p> <p>検討に当たっては、学校統合の組み合わせも含め、様々な観点から意見交換を行う必要があると考えております。</p> <p>いただいたご意見に基づき、「公共施設の適正配置に関する方向性」の説明文中に「保護者や地域住民との合意に基づいて実施します。」という記述を加えます。</p>
45	P78 内日小学校、内日中学校	<p>集約化に反対する。市民生活に必要な物まで集約化、廃止するな。たとえ、集約化するにも時期的なことや将来に悪影響を及ぼす様なことを検討して行うべき。</p> <p>過疎地、住民の生活をみすてるのですか。</p>	<p>「公共施設の適正配置に関する方向性」は決定事項ではなく、市民の方々と議論を深めていくための現時点での市の考え方を提示したものです。</p> <p>「公共施設の適正配置に関する方向性」では、地域コミュニティの核となる施設を確保しながら適正配置を検討し、次の世代に負担をかけない安全・安心な施設を引き継ぎ、魅力ある『新しいまちづくり』を推進していくこととしています。</p> <p>学校統合につきましては、保護者や地域住民の皆様との意見交換等を重ね、ご理解と合意に基づいて実施していきたいと考えております。</p>
46	P78 内日小学校、内日中学校	<p>小学校に通っている子が2人いる。小・中学校が集約された場合、どのように変わるかを詳しく説明して欲しい。(スクールバスや補助なども含め) 過疎地域となっているが地域を活性化または維持していく計画等はないのか。</p> <p>子どもが減っていく中集約していくことは仕方ないかもしれないが、残る高齢者への対応はどうなるのか。増々空き家が増える一方となるのではないだろうか。</p>	<p>「公共施設の適正配置に関する方向性」では、地域コミュニティの核となる施設を確保しながら適正配置を検討し、次の世代に負担をかけない安全・安心な施設を引き継ぎ、魅力ある『新しいまちづくり』を推進していくこととしています。</p> <p>学校統合につきましては、保護者や地域住民の皆様との意見交換等を重ね、ご理解と合意に基づいて実施していきたいと考えております。</p> <p>学校統合によって通学距離が長くなるといった課題が生じる場合には、スクールバスの運行など、児童生徒に過度の負担をかけない方策を検討します。</p>
47	P78 内日小学校、内日中学校	<p>現在、娘が1年生で内日小に通っています。人数の問題で入学前は悩みましたが、子供は毎日楽しく過ごしています。</p> <p>先生方の手厚い指導のお陰で、しっかりと勉強でき他学年との密なコミュニケーション、地域の方とのふれあい、どれをとっても内日ならではの良い環境だと思っています。幼稚園の最後の1年は菊川の幼稚園に通いました。たくさんのお友達ができて、それはそれで楽しい1年でしたが、毎日片道15分かけての送迎は正直言ってとても大変でした。</p> <p>小学校では歩いて登下校できるということが、親の負担にならず、子供の体力向上につながりとてもありがたく思っています。</p> <p>中学校は3学年しかないので仕方ないですが、小学校はぜひこのまま残して欲しいと思います。もし集約するなら勝山と決めるのではなく在校生とその親の意見も尊重して決めてほしいです。そしてスクールバスを出してほしいです。</p>	<p>小規模校には、小規模校のメリットがありますので、このメリットを最大限に生かし、教育を充実させることは重要と考えております。一方で、小規模校には学校運営上の課題もあり、集団の中で多様な考え方に触れ、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人一人の資質や能力を伸ばしていくという学校の特質を踏まえれば、よりよい教育環境を実現するために一定の集団規模を確保することが望ましいと考えております。</p> <p>学校統合につきましては、保護者や地域住民の皆様との意見交換等を重ね、ご理解と合意に基づいて実施していきたいと考えております。</p> <p>検討に当たっては、学校統合の組み合わせも含め、様々な観点から意見交換を行う必要があると考えております。</p> <p>学校統合によって通学距離が長くなるといった課題が生じる場合には、スクールバスの運行など、児童生徒に過度の負担をかけない方策を検討します。</p>

番号	ページ、項目番号など	意見	市の考え方
48	P78 内日小学校、内日中学校	内日小学校の勝山小学校に集約。内日中学校の勝山中学校に集約。内日地区のお祭りや行事が出来なくなってしまうため、反対します。小さな学校にも多くの良い点があります。	「公共施設の適正配置に関する方向性」では、地域コミュニティの核となる施設を確保しながら適正配置を検討し、次の世代に負担をかけない安全・安心な施設を引き継ぎ、魅力ある『新しいまちづくり』を推進していくこととしています。 学校統合につきましては、保護者や地域住民の皆様との意見交換等を重ね、ご理解と合意に基づいて実施していきたいと考えております。
49	P78 内日小学校、内日中学校	小学校、中学校を廃校にするということは若い世代の人たちが集まりにくく住みにくい環境になり、内日地区がいずれ人が居なくなると思う。 廃校するのではなく安心して仕事ができ、子供を預けられるような施設を作るとまた違ってくると思う。(例：児童クラブなど)	「公共施設の適正配置に関する方向性」では、地域コミュニティの核となる施設を確保しながら適正配置を検討し、次の世代に負担をかけない安全・安心な施設を引き継ぎ、魅力ある『新しいまちづくり』を推進していくこととしています。 学校統合につきましては、保護者や地域住民の皆様との意見交換等を重ね、ご理解と合意に基づいて実施していきたいと考えております。 利用可能な建物につきましては、有効利用を図ってまいります。
50	P78 内日小学校、内日中学校	内日小学校と内日中学校は残してほしいです。児童・生徒数は少ないかもしれませんが、小規模校ならではのメリットや内日でしか出来ない教育があると思います。	小規模校には、小規模校のメリットがありますので、このメリットを最大限に生かし、教育を充実させることは重要と考えております。一方で、小規模校には学校運営上の課題もあり、集団の中で多様な考え方に触れ、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人一人の資質や能力を伸ばしていくという学校の特質を踏まえれば、よりよい教育環境を実現するために一定の集団規模を確保することが望ましいと考えております。 学校統合につきましては、保護者や地域住民の皆様との意見交換等を重ね、ご理解と合意に基づいて実施していきたいと考えております。
51	P78 内日小学校、内日中学校	内日小・中学校の勝山小・中学校への統合は絶対に反対です。幼稚園の突然の休園に続いての小・中廃止は内日地区の消滅を意味します。小・中のない地区に他から若い人は移住しないし、今いる者も出ていかざるを得ません。 内日は米どころと言われていますが、将来誰が米を作るのでしょうか。 画一的な統合を進めるのではなく、地区の実情・特色・住民の声を考えてほしいです。そういう意味でどうしても小・中どちらかの施設を廃止するというのなら、小・中一貫校としてモデル地区として下さい。元々内日は運動会等、小・中のむすびつきが強く全く違和感ありません。	「公共施設の適正配置に関する方向性」は決定事項ではなく、市民の方々と議論を深めていくための現時点での市の考え方を提示したものです。 「公共施設の適正配置に関する方向性」では、地域コミュニティの核となる施設を確保しながら適正配置を検討し、次の世代に負担をかけない安全・安心な施設を引き継ぎ、魅力ある『新しいまちづくり』を推進していくこととしています。 内日地区での小中一貫校について、下関市立学校適正規模・適正配置基本計画(第2期)ではお示ししておりません。学校の小規模化の現状や将来推計を踏まえ、児童生徒の教育環境を考えた場合、学校統合によって適正規模・適正配置を図ることが望ましいと考えております。 学校統合につきましては、保護者や地域住民の皆様との意見交換等を重ね、ご理解と合意に基づいて実施していきたいと考えております。

番号	ページ、項目番号など	意見	市の考え方
52	P78 内日小学校、内日中学校	勝山小学校と統合するのであれば、内日下・植田地区は、勝山は距離が遠い。内日下の子供は檜崎小学校に行かせたら良いと思います。中学校は菊川中学校に行かせた方が良いでしょう。	学校統合につきましては、保護者や地域住民の皆様との意見交換等を重ね、ご理解と合意に基づいて実施していきたいと考えております。 検討に当たっては、学校統合の組み合わせも含め、様々な観点から意見交換を行う必要があると考えております。
53	P78 内日小学校、内日中学校	内日地域にアンケートやパブリックコメント用など意見を書いても統合で進んでいるのだと思いますが、統合したらスクールバスが走るとは思いますが、県道のバス停で乗せるのではなく、子供の家の近くまでスクールバスを行かせて下さい。	学校統合につきましては、保護者や地域住民の皆様との意見交換等を重ね、ご理解と合意に基づいて実施していきたいと考えております。 学校統合によって通学距離が長くなるといった課題が生じる場合には、スクールバスの運行など、児童生徒に過度の負担をかけない方策を検討します。
54	P78 内日小学校、内日中学校	1つの案ですが、下関のモデル地域として内日に、小・中学校一貫の学校を作る。そうすれば勝山小に行かなくて良くなる。内日から学校がなくなると内日が消えてしまうような気がします。 小学校は耐震性はありますが、小学校、中学校共に上に砂防ダムが有り、避難場所としては不適。支所を内日のライスセンターの所に移転建替えをして、地震・水害時の避難場所にしたらよいのではないのでしょうか。	内日地区での小中一貫校について、下関市立学校適正規模・適正配置基本計画(第2期)ではお示ししておりません。学校の小規模化の現状や将来推計を踏まえ、児童生徒の教育環境を考えた場合、学校統合によって適正規模・適正配置を図ることが望ましいと考えております。 学校統合につきましては、保護者や地域住民の皆様との意見交換等を重ね、ご理解と合意に基づいて実施していきたいと考えております。 内日公民館については、築30年弱と比較的新しく、耐震性もある内日小学校への移転を検討をしているところですが、土砂災害に対しましては、公共施設・民間施設を問わず、安全な避難施設の選定に努めてまいります。
55	P78 内日小学校、内日中学校	今のまま残して欲しい。集約をするにしても事前に説明をして欲しい。	学校統合につきましては、保護者や地域住民の皆様との意見交換等を重ね、ご理解と合意に基づいて実施していきたいと考えております。 いただいたご意見に基づき、「公共施設の適正配置に関する方向性」の説明文中に「保護者や地域住民との合意に基づいて実施します。」という記述を加えます。
56	P78 内日小学校、内日中学校	第一希望としては、内日小学校・内日中学校に通学したいと希望する児童・生徒がいる間は残して欲しいと思います。地区の文化祭等に、小学校・中学校の児童生徒が参加することで楽しくなります。地区に小学校・中学校があることで、少しでも若者たちの定住の助けになるとは思います。小学校・中学校がなくなれば、高齢化に拍車がかかるとは思います。地区は、0歳～高齢者までが生活することで成り立って行くと思います。高齢者だけでは未来が見えてきません。小学校・中学校を地区外に出ると、バス代などの負担が増えます。内日には高校はないので、いずれは地区外に出ていく訳ですが、その時期が少しでも遅い方が保護者にとっても子どもたちにとっても負担が少ないのではないのでしょうか。 第二希望として、万が一、どうしても勝山に集約されるのであれば、「スクールバスの充実」を望みます。便数の適正、各児童生徒の自宅近くのバス停での乗り降りではなく、近年事件事故が多いことを考慮して、各児童生徒の自宅付近での乗り降りが最善だと思います。(集約先の勝山についてはそのままでもいいと思います。)児童生徒にとって、少しでも多くのことが充実していくことを希望しています。	「公共施設の適正配置に関する方向性」では、地域コミュニティの核となる施設を確保しながら適正配置を検討し、次の世代に負担をかけない安全・安心な施設を引き継ぎ、魅力ある『新しいまちづくり』を推進していくこととしています。 学校統合につきましては、保護者や地域住民の皆様との意見交換等を重ね、ご理解と合意に基づいて実施していきたいと考えております。 学校統合によって通学距離が長くなるといった課題が生じる場合には、スクールバスの運行など、児童生徒に過度の負担をかけない方策を検討します。

番号	ページ、項目番号など	意見	市の考え方
57	P78 内日小学校、内日中学校	<p>小・中学校は、町村地域の核となるもので集約する事により、公共施設マネジメントの方針とも整合していると言で片付けられるものではないと思います。自然の中で、ゆっくりと育てている子供達を、地域の皆さんが見守っています。一度手放すと二度と拾い上げることができなくなります。</p> <p>もう手放してもいい事業等、再考されてはどうでしょうか。せめて、今の小学生が中学校卒業までまてないものでしょうか。内日で育てたいと両親の元に帰ってきた若い親御さんの姿を見ると切なくなります。</p>	<p>「公共施設の適正配置に関する方向性」では、地域コミュニティの核となる施設を確保しながら適正配置を検討し、次の世代に負担をかけない安全・安心な施設を引き継ぎ、魅力ある『新しいまちづくり』を推進していくこととしています。</p> <p>学校統合につきましては、保護者や地域住民の皆様との意見交換等を重ね、ご理解と合意に基づいて実施していきたいと考えております。</p>
58	P78 内日小学校、内日中学校	<p>内日は農業振興を柱にした国の施策（＝多額の国の補助金投入）で推移してきました。その柱である農業は、国が意図するように発展していません。国の食を支える産業である農業を何とかしなければならない、というのがこの地域の最大のテーマです。</p> <p>地域＝農業発展の阻害要因は、担い手が育たないことです。このエリアで求められるのは担い手を育てるための環境づくりです。農業法人が立ち上がりましたが、担い手の主体は65歳を過ぎた方が殆んどです。若い方を必要としています。若い方＝子育て世代が住める最低基準は学校があることです。人口減少率は市のトップクラスのエリアです。市の人口減少率を助長し、農業振興を阻害する廃校は絶対に反対です。《下関市では、学校が抱える様々な課題を解決するために、全小中学校をコミュニティ・スクールに指定し、地域と連携した学校づくりを推進しており、学校運営に地域住民が密接に関わっている状況があります。》 下関市立学校適正規模・適正配置基本計画より抜粋</p> <p>内日では小中学校の運動会に地域住民も参加しています。子供たちは地域の宝です。地域で子供たちを育てていく気持ちは強くもっています。地域から子供たちを奪わないでほしい。地域の状況、エリアが広く通学に過度の負担（4k、6k以上）が生じるをもって内日小・中学校を適正規模・適正配置の優先対象校から除外していただきたい。学校存続こそ適正配置。</p>	<p>「公共施設の適正配置に関する方向性」は決定事項ではなく、市民の方々と議論を深めていくための現時点での市の考え方を提示したものです。</p> <p>「公共施設の適正配置に関する方向性」では、地域コミュニティの核となる施設を確保しながら適正配置を検討し、次の世代に負担をかけない安全・安心な施設を引き継ぎ、魅力ある『新しいまちづくり』を推進していくこととしています。</p> <p>学校統合につきましては、保護者や地域住民の皆様との意見交換等を重ね、ご理解と合意に基づいて実施していきたいと考えております。</p>
59	P78 内日小学校、内日中学校	<p>内日小・中学校の集約化に関する基本計画については、地元関係者と十分対話していただき、関係者の意向に沿ったものにしていただきたい。</p>	<p>学校統合につきましては、保護者や地域住民の皆様との意見交換等を重ね、ご理解と合意に基づいて実施していきたいと考えております。</p> <p>いただいたご意見に基づき、「公共施設の適正配置に関する方向性」の説明文中に「保護者や地域住民との合意に基づいて実施します。」という記述を加えます。</p>
60	P89 下関市園芸センター	<p>園芸センターの築後年数は、どちらが正しいのですか。</p>	<p>園芸センターは多数の建物で構成されているため、施設一覧表等における築年数については、主要な建物の築年数（28年）を表記しております。</p> <p>本文中の表記は概数で記述していたため、表と差が生じておりましたので、「24年～57年」という表記に修正いたします。</p>

番号	ページ、項目番号など	意見	市の考え方
61	P92 下関市陽光苑、下関市梅花園	<p>老人福祉法に基づく養護老人ホームの下関市陽光苑及び生活保護法に基づく救護施設の下関市梅花園は、民間でもサービス提供が可能であるため、事業及び建物を譲渡する方向で検討するとされているが、この方針の前提として、市は、福祉施策におけるセーフティネットとして両事業が今後も市域において必要であると考えているのでしょうか。譲受人がない場合は、廃止する意向でしょうか。</p> <p>いずれの事業も、第1種社会福祉事業で、措置入所によるサービス提供であり、施設経営者は、入所者の確保を措置権者に委ねるしかなく、既存施設での経営環境は、多床室でのサービス提供と老朽化が進んだ施設設備への改修投資が必須であることから、既存事業単独では、経営困難が予測されます。経営に余裕のある社会福祉法人でなければ、譲受は難しいのではないのでしょうか。</p> <p>2022年度までの前期という期間は、検討期間として捉えられているのでしょうか。または、方向性を実現する期間としての区切りなののでしょうか。指定管理者制度により管理運営をしている状況から、指定管理期間との整合性や指定管理業務内容の調整（措置費で賄えない部分の発生）が必要になると思われますが、このような点の方向性は、示されるのでしょうか。</p>	<p>施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。</p> <p>また、利用者が特定の団体等に限定されている施設、収益性があり民間でも経営が可能な施設、民間事業と競合する施設等については、民間活力の導入を前提に、積極的な譲渡を検討することとしています。</p> <p>下関市陽光苑及び下関市梅花園は、セーフティーネットとして引き続き必要な施設であり、現時点で廃止は考えておりませんが、実施時期や必要な条件を整理し、譲渡する方向で検討したいと考えております。</p>
62	P92 下関市陽光苑、下関市梅花園	<p>救護施設梅花園や養護老人ホーム陽光苑は、福祉のセーフティネットとして必要な施設で、第1種社会福祉事業に規定されている福祉施設であることから、行政及び社会福祉法人だけが経営できる施設です。市内には、このような福祉施設を必要としている人が居ると思います。譲渡に応じる社会福祉法人がない場合に、市は廃止するお考えですか。</p>	<p>施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。</p> <p>また、利用者が特定の団体等に限定されている施設、収益性があり民間でも経営が可能な施設、民間事業と競合する施設等については、民間活力の導入を前提に、積極的な譲渡を検討することとしています。</p> <p>下関市陽光苑及び下関市梅花園は、セーフティーネットとして引き続き必要な施設であり、現時点で廃止は考えておりませんが、必要な条件を整理し、譲渡する方向で検討したいと考えております。</p>
63	P96 吉見竜王町児童公園便所	<p>トイレの廃止はやめてください。竜王町は2代目の時代となり、子どもも増えて公園でよく遊んでいます。大人もウォーキング途中のトイレ休憩の場として活用しています。廃止する理由が明示されない数字3割削減のための廃止はいいことではありません。吉見吉母地区で、竜王町のみ廃止の理由も明示されていません。</p>	<p>「公共施設の適正配置に関する方向性」は決定事項ではなく、市民の方々と議論を深めていくための現時点での市の考え方を提示したものです。</p> <p>公衆便所及び公園の便所等の配置につきましては、施設の老朽度及び使用実績等を参考として方向性を検討し、適正配置に努めているところです。具体的な取り組みに当たっては、築年数のほか施設の状態や利用状況等を勘案し、地域の方々の声をふまえながら対応していきたいと考えております。</p>
64	P96 吉見竜王町児童公園便所	<p>公園のトイレを廃止するなんて。利用が少ないのを理由に廃止されるのでしょうか。弱者切り捨ての論理と同じでしょうか。少しでも利用している人がいるかぎり廃止されると困る人がいるのです。多くの場合その人達は声をあげられません。</p> <p>子供たちが公園で遊んでいます。保育園の子供たちが散歩で立ち寄ります。ウォーキングの大人たちも途中トイレがあると助かります。廃止するのはやめてください。</p>	<p>「公共施設の適正配置に関する方向性」は決定事項ではなく、市民の方々と議論を深めていくための現時点での市の考え方を提示したものです。</p> <p>公衆便所及び公園の便所等の配置につきましては、施設の老朽度及び使用実績等を参考として方向性を検討し、適正配置に努めているところです。具体的な取り組みに当たっては、築年数のほか施設の状態や利用状況等を勘案し、地域の方々の声をふまえながら対応していきたいと考えております。</p>

番号	ページ、項目番号など	意見	市の考え方
65	P102 下関市菊川温泉プール	サングリーン菊川と温泉華陽は民間へ譲渡していますが、菊川温泉プールは継続して市の管理としています。同じ温泉源を利用していますが、取扱いが違うのは何故ですか。	利用者が特定の団体等に限定されている施設、収益性があり民間でも経営が可能な施設、民間事業と競合する施設等については、民間活力の導入を前提に、積極的な譲渡を検討することとしています。 下関市菊川温泉プールは市民の健康の増進と体育の振興を図るためのスポーツ施設であり、菊川中学校のプールとしても活用していることから、引き続き市が管理してまいります。
66	P112 豊浦地区	川棚の活性化のためにも施設を存続させてほしいです。	「公共施設の適正配置に関する方向性」では、地域コミュニティの核となる施設を確保しながら適正配置を検討し、次の世代に負担をかけない安全・安心な施設を引き継ぎ、魅力ある『新しいまちづくり』を推進していくこととしています。 検討の実施に当たっては、関係者の方々との対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。
67	P113 小学校	小学校は地域の核であり、今後の地域の発展のためにはぜひ必要な施設である。旧町時代にお金をかけて作った施設を無駄にしないよう、かつ、地域の未来を断つことの無いよう、学校は何があっても残してほしい。（教育委員会は、他校区への通学を安易に許可しすぎではないか。他校区に通う児童生徒が非常に多いとの議会答弁を見たことがある。）	「公共施設の適正配置に関する方向性」では、地域コミュニティの核となる施設を確保しながら適正配置を検討し、次の世代に負担をかけない安全・安心な施設を引き継ぎ、魅力ある『新しいまちづくり』を推進していくこととしています。 学校統合につきましては、保護者や地域住民の皆様との意見交換等を重ね、ご理解と合意に基づいて実施していきたいと考えております。
68	P115 下関市豊浦老人福祉センター	耐震化に向けて、及び人口減少（高齢化・増）・初期の計画より機能 使用頻度の変遷がありやむなしの感もある。 私も、（月）以外 毎日利用している、大変ありがたい。健康器具。温泉、デイサービス。温泉利用者は、私を見る限り、多いとは言えないが、地元より旧市内の方が多い。建物譲渡の方向で検討。譲渡とは、管理・運営が難しく事実上、廃止では。	利用者が特定の団体等に限定されている施設、収益性があり民間でも経営が可能な施設、民間事業と競合する施設等については、民間活力の導入を前提に、積極的な譲渡を検討することとしています。 下関市豊浦老人福祉センターについては、施設機能をできるだけ維持した状態で建物を譲渡することを検討してまいります。
69	P115 下関市海浜環境活用総合管理センター（ヴィラむろつ）	一部借地を解消（譲渡先・買受先に購入してもらい有効活用を希望します。）	利用者が特定の団体等に限定されている施設、収益性があり民間でも経営が可能な施設、民間事業と競合する施設等については、民間活力の導入を前提に、積極的な譲渡を検討することとしています。 下関市海浜環境活用総合管理センターは、用地に制約等があるため、具体的な譲渡手法や利用方法など、幅広く検討してまいります。



番号	ページ、項目番号など	意見	市の考え方
70	P115、P116 下関市豊浦勤労青少年ホーム、黒井公民館	<p>黒井公民館と豊浦勤労青少年ホームの集約化について、黒井地区社会福祉協議会が行っている「ひまわりの会」は、独居高齢者のサロン会として黒井公民館で毎月80名が参加して開催しているが、この人数を収容する集会場所は勤労青少年ホームにはない。黒井公民館が主催する黒井地区文化祭は、公民館と青少年ホームの両施設を併用して展示や演芸を開催しており、青少年ホームだけでは狭すぎて従来の文化祭は開催できないことになる。また、公民館で活動している自主活動グループは、青少年ホームの部屋数不足のため活動場所を失うグループも出る。</p> <p>勤労青少年ホームは、避難所と緊急避難場所に指定されているが、海拔5.4mの低所にあり、大雨や土砂災害時には浸水想定区域と考えられる。すぐ傍を流れる天井川の黒井川が昭和37年に決壊し氾濫したことから、最も危険な指定避難所と認識されており、地域では誰も避難する人はいないと言われている。また、築35年経過し老朽化しており、軽運動場では雨漏りも見受けられる。</p> <p>安全な他所に公民館と青少年ホームの機能を併せ持つ複合施設を新規に建設することが、安全・安心に向けた住民合意の方向付けと考える。いずれにしても机上の計画では住民の生活実態とそぐわないところが見受けられる。現地に足を運んで「汗と知恵」を出していただきたい。</p>	<p>施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。</p> <p>黒井公民館と勤労青少年ホームは、使用用途が類似しているため、利用状況や問題点を踏まえ、現在の機能をできるだけ維持しながら集約化することを検討いたします。</p> <p>併せて、高齢者等に配慮した施設改修や備品更新も検討してまいります。</p> <p>検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図りながら公共施設の適正配置の実現に取り組んでまいります。</p> <p>避難所については、公共施設・民間施設を問わず、安全な避難施設の選定に努めてまいります。</p>
71	P115、P116 下関市豊浦勤労青少年ホーム、黒井公民館	<p>黒井の公民館は、地域の社会福祉協議会が年間10回程度の独居高齢者への会食会を開くのにぜひとも必要な施設である。現在もエレベーターがなく不便だが、青少年ホームに移ると会食会を開くことが非常に困難になり、地域福祉が大きく減退する。市と合併したために何もかも低い水準になるのは納得がいかない。唐戸の遊園地やホテル建設、人工島などへの無駄な投資を減らして、福祉にお金をまわしてほしい。</p>	<p>施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。</p> <p>黒井公民館と勤労青少年ホームは、使用用途が類似しているため、利用状況や問題点を踏まえ、現在の機能をできるだけ維持しながら集約化することを検討いたします。</p> <p>検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図りながら公共施設の適正配置の実現に取り組んでまいります。</p>
72	P115、P116 下関市豊浦勤労青少年ホーム、黒井公民館	<p>サークル活動をしています。集約されてしまうと日時が制約されてしまいこまります。</p>	<p>施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。</p> <p>黒井公民館と勤労青少年ホームは、使用用途が類似しているため、利用状況や問題点を踏まえ、現在の機能をできるだけ維持しながら集約化することを検討いたします。</p> <p>検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図りながら公共施設の適正配置の実現に取り組んでまいります。</p>
73	P115、P116 下関市豊浦勤労青少年ホーム、黒井公民館	<p>黒井公民館の借入れを廃止するそうですが、青少年ホームに集約するには、手ぜまであり、建物も老朽化し、雨もり、エレベーターなし、トイレが和式、すべりやすい床材等、障害者・老人は使用しにくい構造で、不便になることが予想されます。集約するなら、全面的に増築・リフォームが必要と考えます。まず、現在の黒井公民館の賃料値下げ交渉や、借りる部屋の縮小等、検討されてはいかがでしょうか。</p>	<p>施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。</p> <p>黒井公民館と勤労青少年ホームは、使用用途が類似しているため、利用状況や問題点を踏まえ、現在の機能をできるだけ維持しながら集約化することを検討いたします。</p> <p>併せて、高齢者等に配慮した施設改修や備品更新も検討してまいります。</p> <p>検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図りながら公共施設の適正配置の実現に取り組んでまいります。</p>

番号	ページ、項目番号など	意見	市の考え方
74	P116~P119 地区施設	各地区に一ヶ所は最低限、まちづくりと災害時の退避場所として最適な位置している施設は再考すべきである。	「公共施設の適正配置に関する方向性」では、地域コミュニティの核となる施設を確保しながら適正配置を検討し、次の世代に負担をかけない安全・安心な施設を引き継ぎ、魅力ある『新しいまちづくり』を推進していくこととしています。 適正配置の検討に際しては、平常時の安全だけでなく、災害時の拠点施設としての機能確保の観点から、地域の防災拠点となる施設の確保に努めることとしています。
75	P116~P119 地区施設	「地域施設」ごとの具体的な計画を示しているこのページは、廃止や譲渡など大きい変更があるものを記載していると思われます。上記の豊洋台支所「集約化」は、実質的に廃止であれば、この欄に記載すべきものであると考えます。豊洋台支所をどのように変更する計画か具体的に記載することを求めます。また、この欄に記載しないとすれば、その理由を明らかにすることを求めます。	「エ・各施設の検討方針」につきましては、「公共施設の適正配置に関する方向性」1ページに記載しておりますとおり、前期の方向性を示す施設について記述しており、中期～後期に検討対象となる豊洋台支所については、概ねの方向性を示しております。 中期（2023年度～2028年度）及び後期（2029年度～2034年度）につきましては、市民ニーズの状況や社会経済情勢の変化、地方財政制度の動向等を勘案して、適当な時期に改めてその方向性を検証することとしています。
76	P116 黒井公民館	私は月2回大正琴を習いに黒井公民館に楽しみに行っています。手先を動かすとボケ防止になると聞いて5年位になります。高齢者の人も多く85才の人も休まず、階段を上るのに足、ヒザが痛むのに顔をしかめ面しながら練習にきています。いつまでも人の手を取らせないように、ボケないように足を引きずりながら、階段を上って、後で見てるのがつらい位85才の人達ががんばって公民館にきています。施設を減らすのも分りますが高齢者の人達がいつまでも楽しく生きていけるように、川棚公民館はエレベーターがついているけれど黒井ももう少し足をひきずらなくてすむように考えてほしいです。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 黒井公民館と勤労青少年ホームは、使用用途が類似しているため、利用状況や問題点を踏まえ、現在の機能をできるだけ維持しながら集約化することを検討いたします。 併せて、高齢者等に配慮した施設改修や備品更新も検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図りながら公共施設の適正配置の実現に取り組んでまいります。
77	P116 黒井公民館	色々な方がサークル活動しています。青少年ホームと一緒に、グループ活動が存続出来るのでしょうか。高齢者の利用も多い様です。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 黒井公民館と勤労青少年ホームは、使用用途が類似しているため、利用状況や問題点を踏まえ、現在の機能をできるだけ維持しながら集約化することを検討いたします。 併せて、高齢者等に配慮した施設改修や備品更新も検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図りながら公共施設の適正配置の実現に取り組んでまいります。
78	P117 下関市小野ふれあいセンター	体育館については前期に解体とあるが毎週の卓球クラブの使用、地域活性化のための11月のふれあい収穫祭での作品展示、また、小野球技大会では170名位の地域住民が集い体育館が無くなると住民の意思疎通にまで影響を与えるため反対します。そもそも市のホームページにのせる前に地域住民への説明があつてしかるべきではないでしょうか。上・中・下の小野自治会の意見です。	「公共施設の適正配置に関する方向性」は決定事項ではなく、市民の方々と議論を深めていくための現時点での市の考え方を提示したものです。 計画期間中に築50年を超える耐震性のない建物は、原則として解体する方向で検討することとしており、下関市小野ふれあいセンターの体育館につきましては、老朽化が著しいため近隣の施設を利用いただく方向等を検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。

番号	ページ、項目番号など	意見	市の考え方
79	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	当初の考え通り、まちづくりの中心に位置する重要な施設と考えている。建物は譲渡となっていますが、今一度、再構築のために慎重に考えて欲しい。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。
80	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	とんがりぼうしをよく利用しています。子供が習い事で利用したり朝市や選挙でもお世話になっています。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。
81	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	とんがりぼうしの閉鎖に反対します。当初の運営がまずくて赤字になったのかもしれませんが、現在残っているサービスのなかでも、年配婦人が先生となって「梅干しづくり」や「こんにゃくづくり」等の体験型講座はとても人気で私も参加した事がありますが、このエリアではとんがりぼうしの設備だからこそ出来る唯一無二のサービスです。 また、貸しホールとしても、地域の英語教室など、公民館では営利活動とみなされ貸してもらえない活動の場所にもなっています。最近市報の表紙に掲載された青龍太鼓の練習＆機材の保管場所でもあります。私が知る限りでも、以上の様に、とんがりぼうしにしかできないサービスがあることを考えると、安易な閉鎖には反対です。経営上の改善を図った上で、施設の継続を希望します。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。
82	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	昨年12月からとんがりぼうし出荷組合員として、お米やお野菜を出荷しています。正直、前向きに新鮮でおいしい食材を市民のみなさんにお届けしたいと豊北から出荷していたので、施設がなくなってしまうと困ります。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。
83	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	毎週土日曜日に開かれている野菜市場を楽しみにしている者です。地元の方が作られる野菜類を安く買わせてもらいおいしく味わっています。野菜を出される地域のお年よりの方も生きがいを感じて出しておられるようです。地元の方のちょっとした交流もでき、そういう場がなくなるのは淋しいです。 多くの施設を維持していくのは大変と思いますが、ぜひ残していただきたいと思います。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。

番号	ページ、項目番号など	意見	市の考え方
84	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	あまり利用のない施設の削減は仕方ないと思いますが、とんがりぼうし豊浦を毎週利用しています。農業施設として、新鮮な野菜が購入できたり、地元の方による農業教室など、若い世代との交流の場となっており、今後更に利用者が増え、需要も高まる施設ではないかと思えます。どの施設を削減するのか、しっかりと吟味されて欲しいと願っています。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。
85	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	週2日ほどしか利用されず必要ないと思えます	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。
86	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	何の活用もされてないので必要はないと思う。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。
87	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	人口減少や過疎化に伴う公共施設の縮小はやむを得ないと考えますが、計画を作成するにあたり本当に不必要なものなのか、本当に統合・分担してこれまでの機能が果たせるのかを慎重にお考えいただきたい。 「とんがりぼうし豊浦」について言えば、最初の建設目的である豊浦町の豊かな自然環境の活用を図り、地域の特性を活かしたまちづくり、人づくりが他の施設で可能かどうか。農村、漁村である豊浦町の良さが他の地区または県外の人に伝えられるか、体験して確認してもらえるかどうか。そして何より今まさに利用している方々が必要でないと思っているかどうか、生活に困らないかどうかを熟慮していただきたい。お金がかかるから、古いからということで安易に決定されぬよう、地元の方の意見もよく聞いて下さい。また、より使い易くするため、利用頻度をあげるためには建物環境の整備や市の条例改正も必要かと思えます。 「とんがりぼうし」がなくなれば川棚温泉の利用者も生活者も困ることになるのでは。今のやり方では反対。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。

番号	ページ、項目番号など	意見	市の考え方
88	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	災害の時の避難の時に必要になる。近くの農家の販売などで活用する。問題は人件費だと思う。退職者のボランティアとか。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。 指定緊急避難場所・指定避難所につきましては、公共施設・民間施設を問わず、安全な施設の選定に努めてまいります。
89	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	生活の為、買物に不自由。湯町地区に打撃が出ます。存続をお願いします。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。
90	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	高齢者がよく利用しているのでなくなると困ります。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。
91	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	色々な教室。コーラス、ダンスなど農業に関係ないものにも活用して長く使用できるようにしてほしいです。梅干し教室がなくなるのさみしいです。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。
92	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	私はとんがりぼうし青空市場に出店しています。ここは旅館やホテルがあり多くの皆様が寄って下さいます。豊浦町にとって大切な場所なのにもっと力を入れてほしいくらいです。とんがりぼうし豊浦をなくさないで下さい。市にとって赤字だからといってやめないで、それをどうしたらもっと繁栄できるかを考えるべきだと思います。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。

番号	ページ、項目番号など	意見	市の考え方
93	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	「とんがりぼうし豊浦」は必要だと考えます。旧市街と豊北町の中継地点にあるため宿泊客も多く、地元の年配の方は土日開催の青空市で買い物をされる方も多いです。フリーマーケットもあり、豊浦町の方々は勿論、下関市民の交流の場としても活用されていますし、体験教室などはお子さんから大人まで参加されています。そうした利用者があるにも関わらず切り捨てるのは納得がいきません。作った物を活用し続ける方向でご検討いただきますよう宜しくお願いいたします。市民に向けて、市民のためになることをよく考えていただきたいです。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。
94	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	現在、湯町地区災害避難所に指定されている唯一の公共施設である。廃止されると全町民の避難所がなくなることになる。又、現在高齢者の健康保持体操で毎週火曜（午前中）は利用させてもらっている。公民館も在るが、ここだと徒歩で会場まで行くことが出来るし、大変幸せしている。高齢者の行き場が段々なくなる現状では絶対無くしてはならないと思う。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。 指定緊急避難場所・指定避難所につきましては、公共施設・民間施設を問わず、安全な施設の選定に努めてまいります。
95	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	年々高齢化が進み、毎日の生活の為に買い物が大変で施設として活用している所がなくなりますと困ります。まだ川棚はマーケットが沢山あり幸せですが野菜は地産のが使いたいです。今、土日のとんがりの野菜、卵、しょうゆ等皆で楽しみに買わせて頂いています。生産者も高齢ですが楽しみに作って出荷していると言われます。高齢者の事大事に考えて下さい。皆車を利用出来ず近くの店などがなくなる事を一番に困ります。どうぞ高齢者の事を思ってくださいませ。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。
96	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	とんがりぼうし豊浦の施設は子供、高齢者、観光客の皆様のいこいの場所になっています。この施設をつぶしてはいけません。赤字が出ていても良いではないですか。下関の市議会議員の方々、この施設を存続してもらうようにして下さい。お願いいたします。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。
97	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	川棚湯町の周辺にお住まいの方（特に高齢者）から野菜などの買い物に便利、体操の教室が楽しいの声をよく聞きます。 地元（豊浦町）に住んでる方でも「とんがりぼうしは何をしてる場所」「行ったことがまだない」という声を聞きます。「いちご狩り」や「加工教室」「フリーマーケット」のお知らせをしたら、参加する人が増えました。せっかく川棚の温泉街近くで駐車場も広いので、もっと活用できるのではと思います。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。

番号	ページ、項目番号など	意見	市の考え方
98	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	湯町の中には商店がありません（コンビニ1軒）。とんがりぼうしは、野菜や魚の市があつたすかかっていました。車に乗れないので不便です。今、土日だけですがそれもなくなるととても困ります。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。
99	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	とんがりぼうしは農業及びその生産物等を通して人々が交流する場であり、実際この施設を通じて人々が学び地域が潤い、喜びを共にしてきた。特に小規模農家の生産物の出荷の場としても組合ができ、支え合って出荷・販売が自主的に行われてきた。その結果安価で新鮮な農産物を地域に提供してきたし、その場がよき交流の場になっていた。税金の使い方は、さまざまな考え方があるだろうが、人々の喜び、交流、生きがい等に結びつく道を選びたいものだ。その意味でもとんがりぼうしの更なる利用のしかたをさぐる方向で対処してもらいたい。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。
100	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	年1回エビネ展、アジサイ展を開催しています。県内、九州などから見に来ます。公共施設として場所的に最高の場所です。川棚温泉が寂しくなります。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。
101	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	年数回の展示会を楽しみにしている。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。
102	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	維持する意味のある施設は、フルに活用して、本当に活用の無い物は減らしても良いと思います。川棚のとんがりぼうしは色々と活用できる良い場所だと思います。どうぞもっと広い活動場所にして維持してほしいと思います。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。

番号	ページ、項目番号など	意見	市の考え方
103	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	とんがりぼうし野菜市毎週楽しみにしています。買物の楽しみ、出会って話をする楽しみ、老人にとってはかかせない場所と成っています。ぜひ今後も続けて行ってもらいたいです。ぜったいやめないでほしいです。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。
104	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）は前期（2015～2022）に集約されるようになっておりますが、下記の通りとんがりぼうし豊浦が必要なので継続を要望致します。 とんがりぼうし出荷組合とはとんがりぼうしの屋外の屋根の下（軒下）で組合員40名で野菜を（土・日、7時～15時）とんがりぼうし発足（28年間）以来販売をしております。借地料も1ヶ月間3300円を支払っております。組合員の出荷者の方々が28年間地域の皆様と共に新鮮な野菜販売をよろこばれ共に生活の基盤です。ホテルや旅館等もたくさんあり観光客の皆様も立ちよって買物をして帰られます。このとんがりぼうしは下関市民ならば90%以上の知名度があります。この様な有名施設を下関と豊浦町のためにもつぶしてはいけない。 災害の件にしても重大な災害がおきた場合近くにコルトホールがあるがこの地域の皆様全員を収容出来ますか。とんがりぼうしをつぶしたら行政の責任になりますよ。 行政側の意識を変えて単なる赤字と言ってないで住民にほんとうに必要な施設ならば市民はよろこんで税金を払いますよ。（無駄な所、行政人件費を減じること） とんがりぼうしの管理者の管理のしかたにも問題がある。理事長や理事の決定は（ボランティアの精神のある方を）公募して決定して下さい。（これこそ意識改革では） 高齢者や子供達そして地域交流センターとして行政は住民の声をしっかり聞き、町作り、人作りをお願いします。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。 指定緊急避難場所・指定避難所につきましては、公共施設・民間施設を問わず、安全な施設の選定に努めてまいります。
105	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	絶対に必要です。運動等に使用し老人の楽しみにしています。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。
106	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	月に何度か利用しています。催し物やお教室など楽しみにしているので無くさないで下さい。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。



番号	ページ、項目番号など	意見	市の考え方
107	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	体操に毎日利用しているのでなくさないで下さい。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。
108	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	体操に毎週利用しているので無くなると困ります。地区利用もありますので困ります。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。
109	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	体操の会があり参加させてもらい動く体を維持しているのにこの場所がなくなり体操もなくなれば運動が出来なくなり体力の維持がむずかしくなる。1人で家でといっても嘘になかなかできない。ぜひとんがりぼうしを残して欲しい。行政で存続してもらえないと不便になる。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。
110	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	体操の会を立上げ6年目。10人も今38人に増え健康を維持し医療費の削減にも協力していると思う。なのにそれをさせなくするような方向に持って行かれるのはなぜか。中央中心で端は切り落されるのには納得いかない。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。
111	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	週一の運動で楽しみにしています。なくなると困ります。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。

番号	ページ、項目番号など	意見	市の考え方
112	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	一週間の一度の楽しみなので続けてほしいです。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。
113	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	毎週、高齢者健康体操教室で利用させてもらい大変幸せしている。無くなると一番高齢者が困る。町民の避難場所が無くなってしまう。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。 指定緊急避難場所・指定避難所につきましては、公共施設・民間施設を問わず、安全な施設の選定に努めてまいります。
114	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	健康の維持、増進、健康寿命の延伸、自分の健康は自分で守る。そのためにこの会があり、地域の人が集まれるこの場所を使わせていただいています。市が健康づくりを推進していることも予算等のことも分かりますが、今健康づくりをしている人たち、幸せな人生を築く、いこいの場としても使用させて頂いてます。心と体の健康づくりをしていく上でつながれる場所は必要と思っています。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。
115	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	毎週健康管理、維持として体操教室に通っています。高齢になるとみんなと顔を会わせておしゃべりする事が体操と同じ位に楽しみです。今は教室に30人位が集まっています。他にとんがりぼうしの様な広い場所はありません。このままずっと体操を続けたいです。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。
116	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	川棚とんがりぼうしにくる時楽しみにしております。どうか継続していただけるようお願いいたします。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。

番号	ページ、項目番号など	意見	市の考え方
117	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	車もなく歩いて10分以内でこられ楽しみにしています。宜しくお願いします。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。
118	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	過疎の地方の集会所を存続して下さい。お願いします。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。
119	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	過疎の公共の場所の存続をお願いします。高齢者の行き場所、楽しみがなくなります。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。
120	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	なくなると月に1度しかこれないけど楽しみが無くなります。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。
121	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	存続してほしい。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。

番号	ページ、項目番号など	意見	市の考え方
122	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	なくなると来る楽しみがなくなります。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。
123	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	市民に必要な施設は耐震構造にして後世に残してほしい。必要な施設は税金をたくさん投入しても良いではありませんか。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。
124	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	現在、毎週土日に行われている青空市場へ農産物の出荷している。この施設は産直市場として安心、安全で新鮮な農産物を届け地元に根付いている。施設は老朽化まではしておらず、公共施設のマネジメントの観点からの環境の整備も効率的に進めている状況だと思う。こうした施設はこの地域には必要であり、そのためのサービスの充実、農作物及び地元の観光直売所としての質の向上等は課題であるかもしれないが、今後推進し施設の維持を強く願う。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。
125	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	地域の特性を活かした快適で活力あるまちづくりを推進するための施設なら、この湯町の地になくってはならない施設と思います。観光客の方にも必ず立ち寄って何らかの情報を得たり、一休みしたりしています。又、私達年寄りも土日だけ開店する市には大変助かっています。どうか今まで通りでお願い致します。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。
126	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	私はとんがりぼうし豊浦に農産物を出荷している者です。豊浦では他にも直売所は数か所ありますが、とんがりぼうし豊浦は地元の方はもちろんですが観光に訪れて寄ってくれる人たちに新鮮な野菜や果物を喜んで買って頂き消費者とのふれ合いの場でもあります。またイベントや季節によって受講できる研修など、幅広い人達の施設です。どうかこのままとんがりぼうし豊浦を存続出来る様お願いします。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。

番号	ページ、項目番号など	意見	市の考え方
127	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	他にも整理すべき施設はあると思います。市の周辺部にある施設の多くは地域と一体化していると思います。廃止すれば地域の活力がなくなると思います。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。
128	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	とんがりぼうしの施設の軒下で行う朝市は建設以来今日迄地域の活性化はもとより交流の場でもあり、大変愛されております。遠くは小倉周辺、また旧市内から安くて安心、安全な野菜等を求め土曜、日曜日を楽しみにしているお客さんがおられます。これが廃止になれば地域の高齢者の憩いの場がなくなり、1日の生活において必要な野菜等の買い物が出来ず、元気の源が失われる。 市は必要のない（赤字経営）箱物は廃止、または譲渡の方針だが、机上での検討ではなく、現地での利用状況を職員に把握させ、今後の運営方針を検討すべきだ。譲渡については反対である。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 また、利用者が特定の団体等に限定されている施設、収益性があり民間でも経営が可能な施設、民間事業と競合する施設等については、民間活力の導入を前提に、積極的な譲渡を検討することとしています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。
129	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	継続して利用出来ることを希望します。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。
130	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	私は出荷者です。週に2回市場が開かれますが地域の高齢者の方々が多くこられ、毎日の生活の根源になっているように思われます。何とかこの施設を残していただくよう要望します。	施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。

番号	ページ、項目番号など	意見	市の考え方
131	P117 下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）	<p>健康に気をつけるためちょうどよい場所です。なくなったら困ります。週一の運動ができなくなります。残して下さい。</p> <p>家で一人で体操を続けて出来ません。皆で楽しく集まって出来るのが楽しみです。</p> <p>唯一皆様とあつまり良い場所です。何卒善処の程御願ひ致します。</p> <p>体操の会をたちあげ5年。10人の人数も40人になり、皆元気を維持できて頑張っているのにここがなくなれば歩いて来ている人は行けなくなる。高齢になり車をやめた人も何人かいるのでその人達も近くに行く場所はないので中止となる。折角ピンピンコロリ、元気で長いき健康寿命を延ばそうと頑張り成果を上げているのに無になってしまう。</p> <p>せっかく体操のメンバーがそろって体も少しずつ良くなって来てる所でなくなるとは次がこまります。社会保険もなるべく使わないで頑張ってるのに続けたいです。</p> <p>絶対必要と思います。</p> <p>体操をすると元気が出て病気をすることもありません。是非つづけて頂けます様お願い致します。</p> <p>地域で体操やイベント等々活用させてもらっている。近くの施設を有効利用し健康づくりやコミュニケーション作りになくしてはならない施設です。運営の仕方は専門の方が考えていただき、何でもかんでも廃止というのは困る。</p> <p>このまま続いてほしいと思います。</p> <p>トンガリをいつまでもおいて下さい。</p> <p>日頃家では運動をしないので、週1回集まって体を動かすのは大切な時間です。</p> <p>住民の健康維持の為に必要な事じゃないかと思う。</p> <p>健康体操をぜひつづけてたい。</p> <p>このままのこして下さい。</p> <p>健康の為に近い場所で体操を続けたいのでなくすのは困ります。</p>	<p>施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。</p> <p>下関市豊浦自然活用総合管理センター（とんがりぼうし豊浦）については、利用団体等に機能及び建物を譲渡して活用していく方法や、他の公共施設等に機能を集約する方法などを検討してまいります。</p> <p>検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。</p>
132	P118 室津幼稚園	<p>解体前に地域で話し合い複合施設等、後活用にする方向で考えたい。（高齢者いこいの家を個人宅でしているが地域共有のものをつくりたい）</p>	<p>計画期間中に築50年を超える耐震性のない建物は、原則として解体する方向で検討することとしています。</p> <p>室津幼稚園の建物は、築46年となり老朽化が進んで、耐震性能もないため、安全に配慮し、長寿命化せず、解体の方向で検討することとしています。</p> <p>検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。</p>
133	P120 下関市豊浦コミュニティ情報プラザ	<p>駅舎だと思っていたら違って、何の為の施設かわかりません。売店は何の為にあるのか。休みが多く観光案内も出来ない（友人情報より）。必要なのか。代替のセンターが必要と思う。※コンビニの方が良いのではないか</p>	<p>下関市豊浦コミュニティ情報プラザは、市民への情報発信と地域住民のコミュニティ活動の振興を図ることを目的として設置された施設です。引き続き施設の活用方法を検討し、地域の皆様や観光客等来訪者の方々に有効的にご利用いただけるよう努めてまいります。</p>
134	P120 下関市豊浦コミュニティ情報プラザ	<p>何もしていない。何があるかもわからないので必要なし。</p>	<p>下関市豊浦コミュニティ情報プラザは、市民への情報発信と地域住民のコミュニティ活動の振興を図ることを目的として設置された施設です。引き続き施設の活用方法を検討し、地域の皆様や観光客等来訪者の方々に有効的にご利用いただけるよう努めてまいります。</p>
135	P121 No.6（豊浦総合支所豊洋台支所）とNo.14（下関市豊浦多世代交流センター）	<p>集会施設 機能の方向性～中・長期（集約化の方向）</p> <p>・豊浦多世代交流センター</p> <p>豊洋台、黒井地区等で、建物、運動公園を（今から10年後も人口等はどうか不明だが、）各豊洋台3町、新町、黒井地区で災害時の避難場、退避場所として重要な位置にある物件は、慎重に再考する必要があるのではないか。</p>	<p>適正配置の検討に際しては、平常時の安全だけでなく、災害時の拠点施設としての機能確保の観点から、地域の防災拠点となる施設の確保に努めることとしています。</p> <p>豊浦多世代交流センター及び豊洋台支所は、建築後23年が経過しており、今後老朽化が進行していくことが予想されるため、中期～後期において集約化を検討する方向性としています。</p> <p>指定緊急避難場所・指定避難所につきましては、公共施設・民間施設を問わず、安全な施設の選定に努めてまいります。</p>

番号	ページ、項目番号など	意見	市の考え方
136	P120、P121	<p>黒井公民館を豊浦勤労青少年ホームに集約するという事について。</p> <p>1. 豊浦勤労青少年ホームは築35年で耐震性があるというのが本当に大丈夫なのか。→耐震性については阪神大震災以降の建築法の見直しと思っている。阪神大震災以前の建物であるが本当に耐震性は大丈夫なのか。また、この建物については、過去、雨漏りがして修理をお願いしているにもかかわらず、予算の関係で何年もの間、きちんとした雨漏りの修理をしてもらえていないのではないかと。この雨漏りによる劣化については。</p> <p>2. 合併の時、行政の都合で2つに分けられた黒井公民館と豊浦勤労青少年ホーム。その後の13年で住民の地域活動が盛んになり、黒井公民館2階第1研修室をつかった活動が盛んになり、1か所に集約すると、活動に制限ができることを懸念する。</p> <p>3. 地域福祉活動をしている地区社協の行事や、介護予防や認知症予防など、これからの高齢社会で健康寿命を延ばしておこうという行政の取り組みに賛同してできてきた自主活動グループも多い。これも制限してしまう可能性が高いと考える。</p> <p>4. 黒井地区でもどんどん高齢化率が進んでいる。黒井地区社会福祉協議会で30年続ける独居高齢者会食会の開催も、会食会に参加する方の平均年齢は年々上がっている。しかし、今の豊浦勤労青少年ホームでは現在のままでの開催不可能と考える。</p> <p>①公民館で開催している現在でも、2階が会場のため階段の上り下りが非常にたいへんである。それでも、「運動」と言いながら階段を一生懸命上り下りする会員さんの思いの中には、元気に長生きしないと自分はもちろん周りのみんなに迷惑が掛かるという思いがあるので、ぜひ続けていきたい活動である。階段があるからと参加をやめる人が多いので、エレベーターの設置を強く望んでいる。</p> <p>②80人近い参加のある独居高齢者会食会。豊浦勤労青少年ホームにある新和室では、畳に座って食事をするのが難しいし狭い。</p> <p>③年10回ほど開催しているので、冬の寒い時期、夏の暑い時期は、健康面を配慮し、空調のある部屋で開催したい。</p> <p>④膝の悪い人、足の悪い人が多いのでトイレに洋式が必要。</p> <p>5. 災害時、特に心配な水害については青少年ホームは、周囲が水に浸かり始めるのが地域の中では早い場所と思う。いざという時、避難所として活用していいのか。</p> <p>以上、とりとめもないが、要は、今より条件が悪くなる集約化については反対である。ただし、公民館と支所が一緒になることについては、住民の利便性が上がるので良いと思う。防災面での安全性の確保、エレベーターや洋式トイレ、体育館のほかに今の黒井公民館第1研修室並みの研修室、講堂が必要。</p> <p>黒井地区は、JRの駅が2つあり、国道も通っている。新幹線の駅のある新下関、高速道路のインターチェンジにも30分で行け、JR下関駅周辺にもバイパスの開通で1時間かからずに行けるという交通の便と、自然が豊富で、海の幸山の幸も安くて豊富、地産地消ができる土地柄だと感じている。</p> <p>高齢化による空家が増えているようだが、これもうまくリホームやリノベーションができれば、便利の良い田舎暮らしが出来るので、若い世代の人にも住みやすいのではないかと。地域とのつながりを大事に暮らしたいという人たちに、農業や家庭菜園など自然と暮らしたいという人たちに来ていただける黒井になってほしい。</p> <p>公共施設はその中心となって機能できるように、長い目で、将来の黒井地区を見据えての適正化となってほしい。</p>	<p>施設の見直しを行うに当たっては、施設機能（サービス）の維持に重点を置き、単純に施設を廃止することは極力避ける方針としています。</p> <p>黒井公民館と勤労青少年ホームは、使用用途が類似しているため、利用状況や問題点を踏まえ、現在の機能をできるだけ維持しながら集約化することを検討いたします。</p> <p>併せて、高齢者等に配慮した施設改修や備品更新も検討してまいります。</p> <p>指定緊急避難場所・指定避難所につきましては、公共施設・民間施設を問わず、安全な施設の選定に努めてまいります。</p> <p>なお、豊浦勤労青少年ホームは、現行法の耐震基準を満たしております。</p>

番号	ページ、項目番号など	意見	市の考え方
137	P121 室津公民館	室津公民館は地域唯一の集会所である為ぜひ存続をお願いします。	「公共施設の適正配置に関する方向性」では、地域コミュニティの核となる施設を確保しながら適正配置を検討し、次の世代に負担をかけない安全・安心な施設を引き継ぎ、魅力ある『新しいまちづくり』を推進していくこととしています。 室津公民館・室津支所は、建築後30年が経過しており、今後老朽化が進行していくことが予想されるため、中期～後期において集約化を検討する方向性としていますが、中期～後期の方向性については、市民ニーズの状況や社会経済情勢の変化、地方財政制度の動向等を勘案して、適当な時期に改めて検証することとしています。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。
138	P121 豊浦総合支所室津支所	豊浦総合支所室津支所も同様に集約化されたら交通手段を持たない者は行政窓口に行くことができません。	「公共施設の適正配置に関する方向性」では、地域コミュニティの核となる施設を確保しながら適正配置を検討し、次の世代に負担をかけない安全・安心な施設を引き継ぎ、魅力ある『新しいまちづくり』を推進していくこととしています。 室津公民館・室津支所は、建築後30年が経過しており、今後老朽化が進行していくことが予想されるため、中期～後期において集約化を検討する方向性としていますが、中期～後期の方向性については、市民ニーズの状況や社会経済情勢の変化、地方財政制度の動向等を勘案して、適当な時期に改めて検証することとしています。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。
139	P121 豊浦総合支所豊洋台支所、下関市豊浦多世代交流センター	豊洋台支所と豊浦多世代交流センターが「集約化」と記載されています。この「集約化」を削除して欲しい。「集約化」の表現ではありますが、同ページの室津支所も「集約化」となっており、両支所の機能を他の支所や総合支所に集約し、廃止する計画と思われ。約800世帯が暮らす豊洋台の住民にとって支所は必須の公共施設であります。 高齢化が進む中で、今後より一層地域にとって欠かせない施設となります。また、豊洋台支所と多世代交流センターは事務所も一つの単一の施設であります。市が進めようとしている「複合化」は既に達成していると思います。これを更に「集約化」する必要はないと考えられます。	「公共施設の適正配置に関する方向性」では、地域コミュニティの核となる施設を確保しながら適正配置を検討し、次の世代に負担をかけない安全・安心な施設を引き継ぎ、魅力ある『新しいまちづくり』を推進していくこととしています。 豊浦多世代交流センター及び豊洋台支所は、建築後23年が経過しており、今後老朽化が進行していくことが予想されるため、中期～後期において集約化を検討する方向性としていますが、中期～後期の方向性については、市民ニーズの状況や社会経済情勢の変化、地方財政制度の動向等を勘案して、適当な時期に改めて検証することとしています。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。
140	P122 (新) 豊洋台運動公園(便所)	新規・台帳整理とは。どうなるのか。 トイレについては、簡易トイレでも良いのでは。	公衆便所及び公園の便所等の配置につきましては、施設の老朽度及び使用実績等を参考として方向性を検討し、適正配置に努めているところです。具体的な取り組みに当たっては、築年数のほか施設の状況や利用状況等を勘案し、地域の方々の声をふまえながら対応していきたいと考えております。 なお、豊洋台運動公園は、台帳への登録漏れがあったため、このたび新たに計上したものです。



番号	ページ、項目番号など	意見	市の考え方
141	全般的、総合意見	<p>全般的、総合意見として、築40年以上、耐震化、利用状況として判断するわけですが、財政（予算）難を盾に、即廃止は（安易にしないで欲しい）住民と納得のいく話し合いを是非もっていただきたい。</p> <p>町づくりを計画するうえで、海・山・農・温泉・芸術の村豊浦町を発展させる。素晴らしい地域です。道の駅構想もあるとか、（新しい建物はいらない、改廃で空施設を利用する。※中味は、豊浦の（only one）独自性を出す。</p> <p>空施設で、堀さんの美術館を支援し、芸術村（アマチュアとして多くの写真家、画家、陶芸（●●）、多種多彩な豊浦町である。</p> <p>小・中学校の空き施設を是非、最大限利用し（●、芸術、人材は今、調査中です。※赤字であっても、この事にとっては、豊浦町で最重要であれば再考し、未来へ橋渡ししていきたい。</p>	<p>「公共施設の適正配置に関する方向性」は決定事項ではなく、市民の方々と議論を深めていくための現時点での市の考え方を提示したものです。</p> <p>検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。</p>
142	その他、全体的なこと	<p>災害時に於いての位置的最適ヶ所（施設・公園等）を重要拠点として存続・活用するようお願いいたします。</p>	<p>適正配置の検討に際しては、平常時の安全だけでなく、災害時の拠点施設としての機能確保の観点から、地域の防災拠点となる施設の確保に努めることとしています。</p> <p>検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。</p>
143	その他、全体的なこと	<p>市の保有する公共施設に関連する、山口県、国の機関の施設も多々存在すると考える。これらの施設の状況も把握し、連携するという視点も重要であると考えます。</p>	<p>ご意見のとおり、国・県が所管する施設や市区町村域を超えた施設との連携を考慮することは重要と考えております。国からも都道府県施設と市町村施設を視野に入れた検討が望ましい旨の通達がなされております。</p> <p>いただいたご意見に基づき、「公共施設の適正配置に関する方向性」の「3. 適正配置に関する方向性の考え方」の項において、国・県が所管する施設や市区町村域を超えた施設との連携についての記述を加えます。</p>
144	その他、全体的なこと	<p>活用していない無駄な施設の廃止には賛成です。</p>	<p>本市の公共施設マネジメントでは、「次の世代に負担をかけない安全・安心な施設を引き継ぎ、魅力ある『新しいまちづくり』を推進していきます」を基本理念とし、これからの「新しいまちづくり」のためにも、適正配置を図ることが重要と考えております。</p> <p>検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。</p>
145	その他、全体的なこと	<p>廃止する事には反対です。以前の合併協議会議事録を読んでも人口は大きくふえるとコンサルタントの作った作文はうそだったのか。公園などトイレ等が廃止等もっての外です。心ある施策を求めます。公共施設マネジメントによる数値が●●●●なようで公共の場として必要性から設置されたのだと考えます。全ページに亘り説明資料として文字が小さすぎます。視力の弱い者に一考を。</p>	<p>本市の公共施設マネジメントでは、「次の世代に負担をかけない安全・安心な施設を引き継ぎ、魅力ある『新しいまちづくり』を推進していきます」を基本理念とし、これからの「新しいまちづくり」のためにも、適正配置を図ることが重要と考えております。</p> <p>検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。</p>
146	公共施設等	<p>少子化のための集約はやむをえないが、よくもまあこんなに老朽化するのに時間をかけたと思う。</p> <p>予算の関係だけではなく、公共事業を適当にした結果ではないか。10年前合併した時に整備してなくて今からというのでは、30万からすでに27万から26万、今年は25万人になる激減です。遅い計画です。災害に対する（この度の全国の水害災害等含めて）我々の意識もかえなくてはならないとは思いますが…</p> <p>あらゆるところを廃止するのは、緊急時には間に合わない。町づくり協議会も●まりしない市民には十分に伝っているとは思えない。年よりにやさしい西部地区をのぞみます。トイレは必ず必要です。</p>	<p>「公共施設の適正配置に関する方向性」では、地域コミュニティの核となる施設を確保しながら適正配置を検討し、次の世代に負担をかけない安全・安心な施設を引き継ぎ、魅力ある『新しいまちづくり』を推進していくこととしています。</p> <p>公衆便所及び公園の便所等の配置につきましては、施設の老朽度及び使用実績等を参考として方向性を検討し、適正配置に努めているところです。具体的な取り組みに当たっては、築年数のほか施設の状態や利用状況等を勘案し、地域の方々の声をふまえながら対応していきたいと考えております。</p>

番号	ページ、項目番号など	意見	市の考え方
147	学校の集約化について	自治体によれば10人以下でも学校を続けています。下関ではなぜできないのですか。	小規模校には、小規模校のメリットがありますので、このメリットを最大限に生かし、教育を充実させることは重要と考えております。一方で、小規模校には学校運営上の課題もあり、集団の中で多様な考え方に触れ、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人一人の資質や能力を伸ばしていくという学校の特質を踏まえれば、よりよい教育環境を実現するために一定の集団規模を確保することが望ましいと考えております。 学校統合につきましては、保護者や地域住民の皆様との意見交換等を重ね、ご理解と合意に基づいて実施していきたいと考えております。
148	トイレの廃止について	明治150年といいながらも観光に力を入れ特化して、下関のよいところを案内するものとして、トイレの廃止は納得いかない。又、9号線のゴミの多さ、雑草などはみるにたえない。自治会の機能が十分に活かされていない。公共施設を維持できなくても今のトイレをもう少し時代になじむ洋式トイレにしてほしいと望みます。トイレトペーパーは不用だがポケットティッシュで使えるようにしてもらえればと思いますが、とにかく老人は排泄が一番困ります。よろしくお願いします。市民税、県民税うなぎのぼり生きていけません。人口減も26万5000人。このままでは15万になる日も近いです。	「公共施設の適正配置に関する方向性」は決定事項ではなく、市民の方々と議論を深めていくための現時点での市の考え方を提示したものです。 公衆便所及び公園の便所等の配置につきましては、施設の老朽度及び使用実績等を参考として方向性を検討し、適正配置に努めているところです。具体的な取り組みに当たっては、築年数のほか施設の状況や利用状況等を勘案し、地域の方々の声をふまえながら対応していきたいと考えております。
149	公園便所について	改良どころか廃止に怒を覚えます。計画によるとみな道路に面した便所で使い勝手が良く廃止をなぜするのかわかりません。金がないならムダを無くし公共性の高い方へまわすべきだと思います。特に私の家の近く向井中央や向井なかよし公園便所においてはウォーキングの人々。夏の行事には多くの地域の方々が集まります。便所がなければ困ります。大人が立ちションでもすれば子供たちにも示しがつきません。	「公共施設の適正配置に関する方向性」は決定事項ではなく、市民の方々と議論を深めていくための現時点での市の考え方を提示したものです。 公衆便所及び公園の便所等の配置につきましては、施設の老朽度及び使用実績等を参考として方向性を検討し、適正配置に努めているところです。具体的な取り組みに当たっては、築年数のほか施設の状況や利用状況等を勘案し、地域の方々の声をふまえながら対応していきたいと考えております。
150	計画総体について	これらの施設は、本来、下関市民の福利厚生策・該当住民に対する利便性の提供をもって設備され、現在まで維持されてきた施設であると思料します。 此の度、当該の縮小整理を期しての計画を仄聞していますが、動機が、ただの予算の緊縮化に伴う処置としての一時的で代数的な運用であれば、地方行政の在り方として工夫のない無能な処置と申さざるを得ません。 地方交付金、地方税収ともに逡減化に在る現状で、闇雲に計画に反対する姿勢には抵抗がありますが、ここは対象に対しての多方向よりの検討が先ず望まれる処です。 ものによっては、背景の如何を問わず存続させていくべき施設も多々あるかと思われま。該当住民の要望、近将来に於ける存続意識、行政としての費用対効果等々、緻密に、且つ柔軟な遠望を以て取り計らわれることを望みます。 中央行政の一過的な方針におもねる事無く、下関市の行政機関としての理念と、市民視点での肌理細やかな施行手腕を期待して止みません。	本市の公共施設マネジメントでは、「次の世代に負担をかけない安全・安心な施設を引き継ぎ、魅力ある『新しいまちづくり』を推進していきます」を基本理念とし、これからの「新しいまちづくり」のためにも、適正配置を図ることが重要と考えております。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。
151	計画全体	旧下関市の市街地は交通の便もよく、多くの施設へのアクセスが可能である。もし公共施設が多いというなら、そちらから減らせばよいと思う。 今後移住者を呼び込める可能性があるのは市の周辺部および旧郡部である。下関駅及び唐戸の市庁舎周辺への過度の財政投資をやめ、より計画的かつ魅力的な未来の下関像を考えたい。うで公共施設の配置を考えてほしい。	「公共施設の適正配置に関する方向性」では、地域コミュニティの核となる施設を確保しながら適正配置を検討し、次の世代に負担をかけない安全・安心な施設を引き継ぎ、魅力ある『新しいまちづくり』を推進していくこととしています。 各地区における公共施設の適正配置につきましては、地区の特性に配慮しながら検討してまいります。 検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。

番号	ページ、項目番号など	意見	市の考え方
152	その他 本「意見」票	<p>文書に示された個別の施設の方向性について適正か否かを判断する根拠が文書内に見られず、ごくたまにしか公共施設を利用しない私は利用者としての実感にもとづく意見等を述べる立場にもない、したがって市の総合的な政策判断を信頼するしかないだろうと思いました。</p> <p>しかし、この「意見」票の下部に付された「アンケート」の内容を見て、その“信頼”に大きな懐疑を抱きました。社会常識に鑑みて、「行政サービスの維持に配慮しながら、時間をかけて…適正に配置」すること自体に反対することは考えにくいからです。反対するとすれば「配慮せず、時間をかけず、適正に配置せず」等の立場しか考えられない。これほど強い、露骨なバイアス（偏り）をかけたアンケート調査を実施する意図は、賛成多数を得ることにしかないのではないのでしょうか。大学で統計学を学んだ時に、教授が統計調査において絶対にしてはならない禁忌として我々学生に戒められた、最悪の設問です。このような手法で市民の賛意を得たという根拠づけをしなければならないような「方向性（案）」なのでしょう。</p>	<p>「公共施設の適正配置に関する方向性」は決定事項ではなく、市民の方々と議論を深めていくための現時点での市の考え方を提示したものです。</p> <p>検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。</p> <p>アンケートにつきましては、貴重な御意見ありがとうございました。</p>
153	その他	<p>前に図書館についてパブリックコメントを書き出しましたが、図書館をつくる必要がないという意見は取り上げられず、「長府図書館をつくるべき」という別の方の意見は取り上げられていました。</p> <p>「意見提出の定めに反して提出された6件及び内容が実施対象の内容に合致しない10件につきましては、意見の要旨及び意見に対する教育委員会の考えを公表しておりません。また、類似の意見及びこれに対する教育委員会の考え方はまとめて公表しております。」とのことでしたが、定めに反していたわけでもなく、実施対象の内容に合致していなかったわけでもないと思うのに取り上げられなかった理由がわかりません。</p> <p>また、「教育委員会の考え方」も全く回答になっておらず、パブリックコメントとは単に形式的に意見を聞いたふりをするためのものではないかという気持ちが強くしました。</p> <p>この公共施設の適正化に関する方向性（案）という本当に市の将来を考え、市の隅々まで見たうえで計画された案だとは思えません。</p>	<p>「公共施設の適正配置に関する方向性」は決定事項ではなく、市民の方々と議論を深めていくための現時点での市の考え方を提示したものです。</p> <p>検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。</p> <p>なお、パブリックコメントに対する回答につきましては、類似の意見として他意見と集約して回答する場合等がございますので、ご了承ください。</p>
154	その他	<p>施設の維持、困難で統廃合は理解できますが、こういった意見、案を聞くことの前に、吉田町の住人の方々に説明とか何もないのでしょか。</p> <p>只、ばくぜんと意見、案を聞いても何のことも良く理解できない。吉田町の住民は8～9割が知らないのではと思われます。もう少し納得できるように説明して欲しいと思われます。</p>	<p>「公共施設の適正配置に関する方向性」は決定事項ではなく、市民の方々と議論を深めていくための現時点での市の考え方を提示したものです。</p> <p>検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。</p>
155	その他	<p>無作為なアンケートでなく、実際に当事者のもとに出向いてでも話を聞いてから決めるくらいの案件だと思います。軽く考えているように思えてならない。</p>	<p>「公共施設の適正配置に関する方向性」は決定事項ではなく、市民の方々と議論を深めていくための現時点での市の考え方を提示したものです。</p> <p>検討の実施に当たっては、関係者の方々と対話を図り、ご理解をいただきながら取り組んでまいります。</p>